

令和8年度 主な事務事業調

令和8年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	緊急時避難円滑化事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	50,000 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	国の「原子力発電施設等緊急時安全対策交付金（緊急時避難円滑化事業）」を活用し、原子力災害と自然災害の複合災害発生時に孤立のおそれがある地区において、避難路となる市道を改良し、市民の円滑な避難体制を構築する。							
	<p>○市道1号線(中田地区0.05km) 【新規】</p> <p>総事業費 40,000千円（見込）</p> <p>実施期間 令和8年度～令和9年度</p> <p>[整備スケジュール] (予定)</p> <table> <tr> <td>令和8年度</td> <td>測量・設計</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>工事（法面対策等）</td> <td>30,000千円</td> </tr> </table>		令和8年度	測量・設計	10,000千円	令和9年度	工事（法面対策等）	30,000千円
令和8年度	測量・設計	10,000千円						
令和9年度	工事（法面対策等）	30,000千円						
事業の内容	<p>○市道西方寺平線(西方寺地区0.14km) 【継続】</p> <p>総事業費 90,000千円（見込）</p> <p>実施期間 令和7年度～令和8年度</p> <p>[整備スケジュール] (予定)</p> <table> <tr> <td>令和7年度</td> <td>調査・設計・工事</td> <td>50,000千円（事業実施中）</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>工事（法面対策等）</td> <td>40,000千円</td> </tr> </table>		令和7年度	調査・設計・工事	50,000千円（事業実施中）	令和8年度	工事（法面対策等）	40,000千円
令和7年度	調査・設計・工事	50,000千円（事業実施中）						
令和8年度	工事（法面対策等）	40,000千円						

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	50,000	緊急時避難円滑化事業費補助金（10/10）	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		
担当課 危機管理・防災 土木		課長名	泉 光信 尾橋 英憲	内線 2561 番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	ヘリコプター臨時離着陸場整備事業費							
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費		
事業費	126,500 千円			予算書	25 頁			
				事業区分	新規・拡大・継続			
事業目的	<p>集落孤立化のおそれがある大浦半島北東部の田井・成生地区において、ヘリコプター臨時離着陸場を整備し、従来の陸路・海路による避難に加え、空路による避難体制を確立することにより、避難の重層化を図り、市民の安全・安心を確保する。</p>							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○整備予定地 「田井原子力防災センター」隣接グラウンド ○総事業費 150,820千円（見込） ○事業スケジュール（予定） <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度 <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 令和8年度 <ul style="list-style-type: none"> ・用地購入 ・本体工事（地盤改良、舗装、防風ネット設置 等） 令和9年度以降 <ul style="list-style-type: none"> ・本体工事 							
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書		
	国支出金	-						
	府支出金	126,500	原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金 (10/10)			15		
	地方債	-						
	その他	-						
	一般財源	-						
担当課	危機管理・防災 課		課長名	泉 光信		内線番号 2561		

令和8年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	情報発信強化事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 一般管理費
事業費	10,203 千円			予算書	25 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	広報活動は、まちの魅力を発信し、舞鶴市の進めている事業や考え方などを市内外に伝えることで、郷土愛の醸成や透明性のある市役所づくり、市のイメージ向上につながる重要な活動であり、これまでから、SNSをはじめとした多様な広報ツールを活用し、情報発信を強化してきた。 市役所全体の情報発信の仕組みを、「誰に・いつ・何を」伝えるのかを意識した広報へ進化させ、単なる発信に留まらない「伝わる広報」、市民の「知りたい情報が届く広報」へと飛躍的に向上させる。	
	広報広聴課が各部署の広報活動を伴走支援する体制に移行し、庁内全体の広報の質の底上げを行う。	
事業の内容	1 地域活性化事業において成果をあげている総合エンターテインメント企業との連携による専門性の強化【新規】 3,000千円 • 地域活性化起業人（副業型）を活用した広報アドバイザーの受け入れ • 市職員の派遣による高度な広報スキルを持つスペシャリストの育成 • 全職員対象の広報基礎研修を実施し、職員の情報発信意識を変革 2 各課の広報活動への支援【新規】 66千円 • チラシ等デザイン制作支援ツールの導入による質の高い広報物の作成 3 プロカメラマン（地域活性化起業人）による写真・動画撮影【継続】 5,900千円 4 情報発信サイトの活用による市外メディアへの効果的な拡散【継続】 924千円 5 SNSなど各種発信ツールの特性を活かした効果的な情報発信【継続】 313千円	

※ 1・3 の地域活性化起業人に係る経費は特別交付税措置の対象

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	10,203		
担当課		広報広聴	課長名	木下 尚子 内線番号 1316

令和8年度 主な事務事業調

No. 4

事業名	<概要版>DX推進に係る取組					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	59,337 千円			予算書	25・26 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	デジタル技術の力で住民サービスの質を向上させ、より多くの市民が「便利になった」と実感できるよう、行政サービスの向上と業務の効率化を図り、地域社会全体がより良い状態に変わること（デジタル・トランクスフォーメーション）を目指す。					
	1. 市公式LINE機能拡充【新規】	13,827千円	絞り込み配信機能、チャットボット、申請・予約機能およびデジタルポスト機能（封書等で送付している世帯や個人宛の通知をデジタル化し、公式LINE上で受け取ることができる仕組み）を構築。			
	2. 会議DXツール導入【新規】	9,431千円	外部委員が出席する会議において会議用端末を導入し、ペーパーレス会議を実現。			
	3. 公用スマートフォンの試験導入【新規】	709千円	事務用パソコンとの親和性が高いスマートフォンをモバイルデバイスとして試験的に導入することで新たな働き方を創出。			
	4. GWSの活用推進【継続】	35,370千円	GWS（グーグルワークスペース）に搭載されている生成AI機能（Gemini、NotebookLM）の活用を更に推進し、業務の効率化を実現。			
事業の内容	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	6,913	地域未来交付金（1/2）			12
	府支出金	-				
	地方債	4,400	総務債			23
	その他	-				
	一般財源	12,654				
担当課 デジタル推進 課			課長名	吉崎 豊	内線番号	2610

令和8年度 主な事務事業調

No. 5

事業名	笑顔になれる窓口改革推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	38,650 千円			予算書	26	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	来庁予約から会計までの手続きを迅速化し、市民が「待たない・迷わない」窓口が実感できる環境を整備することで、市民サービスの向上を図る。 併せて、職員にとっても働きやすい業務・職場改善を図る。																											
	市役所の窓口を再編し、窓口誘導・予約システム及びポスレジ（デタ自動集計機能付きレジ）・自動釣銭機を活用することで、迅速かつ適切な窓口への案内体制を構築し、市民の手続き導線を最適化する。																											
事業の内容	<p>1. 窓口誘導・予約システム…24,568千円 (西支所、市民課、福祉部へ導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約機能による窓口の混雑緩和を図る ・発券機により、窓口の順番予約と番号札を発券 ・モニターでの表示・音声呼び出し・SMSでの通知 ・1つの窓口で複数の手続きに関する予約が可能 <p>※西支所に令和8年2月から試験導入済</p> <p>2. ポスレジ・自動釣銭機…14,082千円 (西支所、市民課、収納推進課、会計課へ導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済等の多様な決済ニーズに応える ・迅速かつ正確な金銭收受の提供を図る 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>19,325</td> <td>地域未来交付金（1/2）</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>7,600</td> <td>総務債</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>11,725</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	19,325	地域未来交付金（1/2）	12	府支出金	-			地方債	7,600	総務債	23	その他	-			一般財源	11,725	
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																									
国支出金	19,325	地域未来交付金（1/2）	12																									
府支出金	-																											
地方債	7,600	総務債	23																									
その他	-																											
一般財源	11,725																											
担当課	改革推進課 収納推進課 市民課 西支所 福祉企画課 会計課		課長名	三谷 剛 高井 直樹 大谷 美香 濱井 香代子 瀬野 薫 三方 理江		内線番号 1390																						

令和8年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	土質調査情報共有環境整備事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 一般管理費
事業費	5,500 千円		予算書	26 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	土質調査情報は建設工事の基礎となる重要な情報であり、舞鶴市においても過去に実施した情報が蓄積されているが、それらは紙ベースであることからアクセス性が悪く共有環境の改善等が必要な状況にある。デジタル技術を活用した土質調査情報の共有環境を整備するとともに、新たな活用手法の導入により公共工事の品質確保の推進を図る。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3D都市モデル上の土質情報可視化 現在舞鶴市で取組みを進めている3D都市モデル（都市空間情報デジタル基盤）を活用した独自の取組みとして、工事箇所周辺一帯の土質状況や土質情報の連続性かつ俯瞰的な把握を行うことができるようプログラム開発を行うもの。 既存土質調査資料（約400地点）のデータ化（500千円） 3D都市モデルに組み込むためのプログラム開発（5,000千円）

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	2,500	都市再生推進事業費補助金（1/2）	12
府支出金	-			
地方債	-			
その他	-			
一般財源	3,000			
担当課	指導検査	課	課長名 吉田 章洋	内線番号 2390

令和8年度 主な事務事業調

No. 7

事業名	建設技術職員技術力向上事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	500 千円			予算書	26 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	公共工事の発注者として、建設技術職員の資質向上は継続した取組みが必要であるが、近年の技術者確保が困難な状況においては技術力の向上と継承が喫緊の課題となっている。 組織全体の技術力向上は組織の責務であり、建設技術職員全員を対象とした研修を実施することで、発注者としての技術水準の向上を図る。
	建設工事の代表的、基本的工法について、外部専門家を招き1年に1つのテーマで5ヵ年程度を目途に実施する。 研修の様子を資料とともに録画保存し、全ての建設技術職員が常時閲覧できるよう公開する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	500		
担当課 指導検査 課		課長名	吉田 章洋	内線番号 2390

令和8年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	公共施設包括管理事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
事業費	392,022 千円			予算書	26	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	複数施設の業務委託や小規模修繕・工事を一括して包括管理事業者に委託することにより、施設管理の効率化を実現し、市民がより安全・安心に公共施設を利用する環境を整えるとともに、持続可能で良質な公共施設を次世代へ継承する取り組みを進めるもの。																						
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 舞鶴市公共施設包括管理業務委託 <p>対象施設数 : 111施設（学校・社会福祉施設等）</p> <p>業務内容 : 48業務委託（消防設備点検・空調点検等） 及び200万円未満の小規模修繕等</p> <p>契約期間 : 5年（令和8年度～12年度）</p>																						
事業の内容	<p><参考>債務負担行為</p> <table border="1"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>0 千円</td> <td>枠設定・契約候補者決定</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>392,022 千円</td> <td>包括管理業務委託（1年目）</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>398,650 千円</td> <td>同（2年目）</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>430,967 千円</td> <td>同（3年目）</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>437,599 千円</td> <td>同（4年目）</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>468,538 千円</td> <td>同（5年目）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,127,776 千円</td> <td></td> </tr> </table>		令和7年度	0 千円	枠設定・契約候補者決定	令和8年度	392,022 千円	包括管理業務委託（1年目）	令和9年度	398,650 千円	同（2年目）	令和10年度	430,967 千円	同（3年目）	令和11年度	437,599 千円	同（4年目）	令和12年度	468,538 千円	同（5年目）	合計	2,127,776 千円	
令和7年度	0 千円	枠設定・契約候補者決定																					
令和8年度	392,022 千円	包括管理業務委託（1年目）																					
令和9年度	398,650 千円	同（2年目）																					
令和10年度	430,967 千円	同（3年目）																					
令和11年度	437,599 千円	同（4年目）																					
令和12年度	468,538 千円	同（5年目）																					
合計	2,127,776 千円																						

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
府支出金	845	原子力災害対策施設維持管理事業費補助金（10/10）	15	
地方債	-			
その他	86,863	公共施設等整備基金繰入金 他	21・23	
一般財源	304,314			
担当課 資産マネジメント推進 課	課長名	大内 崇広 松尾 信吾 (施設マネジメント担当課長)	内線番号	2390

令和8年度 主な事務事業調

No. 9

事業名	人口減少下における新たな地域コミュニティ構築事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	3,440 千円		予算書	27 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	人口減少、少子高齢化、共働き世帯の増加など社会構造の大きな変化により、これまで地域を支える中心であった自治会等の地縁組織の存続が困難になってきている。 たとえ人口が減少しても、つながりを維持できるよう多様な主体が共に支え合いながら豊かに暮らし続けられる地域づくりを進めていくために、新たな地域コミュニティの構築に取組む。
	<新たな地域コミュニティ構築に向けた取組> 【多様な主体によるワークショップの開催】 地域住民、市民団体、NPO、事業所など多様な主体が連携協働しながら共に地域を支え合う仕組みづくりを目指すきっかけになるよう、地域住民や地域内の各種団体と共に対話型ワークショップを市内数カ所で開催し、課題共有や他地域事例を共有しながら、市内全域で新たな地域コミュニティ構築への気運醸成につなげる。 また、ワークショップの対話を通じて得られた想いや意見を集約し、市民と行政が共に目指す地域コミュニティの姿を方針として取りまとめる。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,600	きょうと地域連携交付金(1/2)	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,840		
担当課 市民協働推進 課		課長名 佐藤 真史	内線番号 1226	

令和8年度 主な事務事業調

No. 10

事業名	多文化共生推進基本方針策定事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	1,500 千円			予算書	27 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	国籍や民族、文化的背景の異なる人々が、互いの違いを認め合い、対等な関係で共に生きていくことができる「多文化共生社会」の実現を目指し、外国人住民も地域社会の構成員として、安全・安心に暮らせる環境をつくることや多様な人材の活躍により地域の活力を維持・発展させるための基本方針を策定する。			
事業の内容	<p>■ 「舞鶴市多文化共生推進基本方針」の策定 市内外外国人住民の居住や就労等の実情を踏まえ、市民、団体、事業者等が参画する検討委員会の意見等を反映し、基本方針を策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国人・市民アンケート、事業者ヒアリング調査 ○検討委員会の開催、運営 ○計画策定業務 <ul style="list-style-type: none"> ・現状分析、データの整理及び課題抽出 ・基本方針策定 			
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	700	きょうと地域連携交付金（1/2）	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	800		
担当課	生涯学習推進課	課長名	森 輝明	内線番号 1223

令和8年度 主な事務事業調

No. 11

事業名	文化芸術まちづくり事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費	33,616 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	「第2次舞鶴市文化振興基本計画」に基づき、総合文化会館をはじめ、市内各地において芸術・文化鑑賞事業、体験事業などを実施し、文化振興の理念である「すべての市民が文化を楽しみ、創造できるまち舞鶴」、「まちを誇りに思い、愛着が感じられる文化都市 舞鶴」の実現を目指す。		
	【主な事業】		
	○まいづるまちなかアートアラウンド アート作品の巡回展示		235千円
	○舞鶴市展（6月） 市民参加の展覧会の開催		2,137千円
	○アートスタート 乳幼児が初めてアートに触れる機会を提供		650千円
	○アート・プログラム・デリバリー 学校等へ講師を派遣し、児童・生徒に文化芸術体験の場を設定		1,051千円
事業の内容	○総合文化会館における芸術・文化鑑賞事業 オーケストラの公演など		26,297千円

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	300	文化芸術振興費補助金（定額）	12
	府支出金	1,060	文化芸術振興・発信事業補助金（1/2）	15
	地方債	-		
	その他	14,647	雑入（公演等入場料等）	23
	一般財源	17,609		

担当課	文化振興課	課長名	横川 拓也	内線番号	1224
-----	-------	-----	-------	------	------

令和8年度 主な事務事業調

No. 12

事業名	総合文化会館運営・整備計画策定事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費	10,440 千円			予算書	27	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	総合文化会館においては、時代のニーズに応じた新たなコンテンツの開拓や、プロモーションの強化、多様な利用方法の検討が課題となっている。また、建物や舞台設備の老朽化も進む中で、計画的な施設整備更新計画の策定が必要である。
	「第2次舞鶴市文化振興基本計画」に基づき、総合文化会館が、市民が文化に親しむ文化芸術活動の拠点施設となるよう、ソフト面とハード面とを両輪とした包括的な運営・整備計画を策定する。
事業の内容	<p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「総合文化会館運営・整備計画」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・運営方法や多様な利用形態、ソフト事業などの検討 ・施設設備の更新、整備計画 ○計画策定市民ワークショップの開催

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	5,200	きょうと地域連携交付金(1/2)	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,240		
担当課	文化振興課	課長名	横川 拓也	内線番号 1224

令和8年度 主な事務事業調

No. 13

事業名	世界記憶遺産資料保存活用事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かした まちづくり推進費
事業費	3,827 千円			予算書 事業区分	28 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	ユネスコ世界記憶遺産登録資料の「白樺日誌」を後世に永く引き継いでいくため、登録資料の状態を調査するとともに、(公財)元興寺文化財研究所との調査研究と研究経過の報告会を開催する。 平成27年の展示リニューアル時に導入した展示映像・資料検索システム等、映像機器類及びシステムデータを点検し、計画的に順次更新を進める。			
	<ul style="list-style-type: none">○白樺日誌保存活用調査経過報告会 (令和9年2月頃開催予定)○保存・展示環境の調査の実施 記憶遺産登録資料の現状と保存環境の調査○展示映像・資料検索システムの更新			
事業の内容				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,835	地域未来交付金(1/2)	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,900	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	92		
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名 嵯峨根 吉宏	外線 番号 68- 0836

令和8年度 主な事務事業調

No. 14

事業名	次世代による平和交流事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かした まちづくり推進費
事業費	11,346 千円			予算書 事業区分	28 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	次代を担う若い世代がシベリア抑留や引き揚げの新たな史実を学び、国際的な体験を通して自らの言葉で平和の尊さを発信できる人材を育成するため、文化・スポーツなど幅広い分野において交流事業に取り組む。				
事業の内容	舞鶴引揚記念館「学生語り部」によるウズベキスタン共和国、キルギス共和国への訪問を実施し、「次世代による継承」をテーマとした交流に取り組む。 ○実施時期 令和8年8月頃 ○派遣人数 学生語り部 8名程度を選考 ○交流内容 日本人抑留者が建造に関わった施設や日本人墓地等を訪問し、当時の温かな交流などの史実に基づいた両国の同世代の若者と交流。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	4,833	ふるさと応援寄附金、雑入(一般社団法人自治体国際化協会国際交流支援事業助成金)	20・23	
	一般財源	6,513			
	担当課 舞鶴引揚記念館		課長名 嵐根 吉宏	外線番号 68-0836	

令和8年度 主な事務事業調

No. 15

事業名	日本遺産活用推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かした まちづくり推進費
事業費	13,399 千円			予算書	28 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	「鎮守府 横須賀・吳・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」として日本遺産に認定されたストーリーや日本イコモス国内委員会の「日本の20世紀遺産20選」に認定された強みを活かし、旧軍港4市の強力な連携のもと、積極的なプロモーションを展開することで交流人口増加を目指す。	
	「旧軍港市日本遺産活用推進協議会」と連携し、海軍舞鶴鎮守府ゆかりの歴史文化遺産を活用し積極的な観光プロモーションを展開する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○日本遺産プロモーション事業 5,775千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旧軍港4市が連携し、普段非公開の日本遺産構成文化財の特別公開等のイベントを開催 ・海軍グルメのプロモーション ・SNS等での発信 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○海軍ゆかり施設周遊促進事業経費 1,774千円 <ul style="list-style-type: none"> ・東郷邸(20日間)、北吸桟橋(36日間) の公開にあわせたガイド派遣等 ○その他経費 5,850千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旧軍港市日本遺産活用推進協議会負担金等 	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,200	地域未来交付金(1/2)	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	11,100	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	99		
担当課		観光振興	課 課長名 竹原 良治	内線番号 1260

令和8年度 主な事務事業調

No. 16

事業名	赤れんがパーク等管理運営経費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かした まちづくり推進費
事業費	69,027 千円		予算書	28 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	()

事業の目的	指定管理者と連携し、「舞鶴赤れんがパーク」の効率的な管理運営を図るとともに、各種賑わい事業を展開することにより、来訪者の満足度向上と赤れんがパーク全体の魅力拡大を図る。				
事業の内容	○指定管理料 60,396千円 舞鶴赤れんがパーク及び赤れんがパーク駐車場の指定管理 指定管理者：株式会社ウッディーハウス 指定管理期間：令和4年度～令和13年度				
	○赤れんがパーク維持管理経費 5,131千円 赤れんがパーク周辺施設除草業務 等				
財源内訳	○赤れんがパーク賑わい創出委託事業費 3,500千円 赤れんがパークを拠点とした海軍ゆかり食文化の展開など、舞鶴ならではの賑わいイベントを開催				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	1,000	地域未来交付金(1/2)		12
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	67,986	赤れんがパーク使用料、ふるさと応援寄附金、雑入(指定管理者納付金)等		8・20 ・23
	一般財源	41			
担当課 観光振興課			課長名 竹原 良治	内線番号 1260	

令和8年度 主な事務事業調

No. 17

事業名	地方創生拠点整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	426,668 千円			予算書	28	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	観光戦略拠点「舞鶴赤れんがパーク」周辺を、隣接する海上自衛隊施設との連携を図りながら、舞鶴市の豊かな自然と歴史・文化を次世代へ継承し発展させる拠点とするため、防衛省の「まちづくり支援事業」を最大限に活用した整備を進める。					
	【令和8年度事業概要】 ・赤れんがパーク園路整備工事 (赤れんがパーク第1駐車場海側及び山側) ・市役所前休憩所整備工事 等					
事業の内容						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	346,577	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金 (7.5/10)			12
	府支出金	-				
	地方債	77,200	総務債			23
	その他	2,800	都市開発推進基金繰入金			21
	一般財源	91				
担当課	企画政策	課	課長名	後 厚史	内線番号	1330

令和8年度 主な事務事業調

No. 18

事業名	次期総合計画策定経費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	10,000 千円			予算書	28	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	市民参加型プロジェクト「#みんなでつくる舞鶴2040」で寄せられた意見を踏まえ、2040年のあるべき姿とその実現に向けた中長期的な方針等を定める「次期総合計画」を策定し、市民とともに、2040年に向けたまちづくりを推進する。 令和8年度は、総合計画審議会による基本構想の答申プロセスを進めるとともに、基本構想に基づいた施策の実効性を高める職員ワークショップ等を実施する。あわせて、外部の専門人材による知見を導入し、より戦略的な政策立案を行うとともに、市民にとって親しみやすく視認性の高い計画冊子の作成に取り組む。					
	1. 総合計画審議会の開催 基本構想案の諮問や答申等を実施。 2. 総合計画冊子等作成 ビジョンピクチャー等を用いた誰でも見やすい冊子等の作成。 3. 職員ワークショップ 基本構想案に基づいた施策の目指すべき社会的成果やそこへの道筋等を設計する職員ワークショップを開催。 4. 特設サイト運営 「#みんなでつくる舞鶴2040」の特設サイトの運営。 5. 政策立案等の専門人材の活用 政策アドバイザー：株式会社日本総合研究所プリンシパル 東博暢氏					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	4,700	地域未来交付金（1/2）			12
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	5,300				
担当課 企画政策課			課長名 後 厚史	内線番号 1330		

令和8年度 主な事務事業調

No. 19

事業名	市民憲章制定経費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1, 400 千円			予算書	28	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	市民のふるさとへの愛着や誇りを醸成するとともに、市民自らが主体となってより良い地域社会を築くための共通の目標や行動の規範として、市民憲章の制定を進める。					
事業の内容	<p>1. 市民憲章制定委員会（仮称）の設置 有識者や市民代表で構成される市民憲章制定委員会（仮称）を設置し、市民の幅広い意見や視点を取り入れながら市民憲章の制定について検討を進める。</p> <p>2. 市民ワークショップの開催 市民憲章の制定を通じて、市民自らが自分たちのまちについて考える機会とするため、市民ワークショップを開催する。</p>					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	550	地域未来交付金（1/2）			12
財源内訳	府支出金	-				
	地方債	-				
財源内訳	その他	-				
	一般財源	850				
担当課 企画政策 課			課長名	後 厚史		内線番号 1330

令和8年度 主な事務事業調

No. 20

事業名	舞鶴高専連携推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,000 千円			予算書	28	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業 の 目 的	人口減少社会において、近畿北部における唯一の工業系高等教育機関である舞鶴工業高等専門学校の重要性が益々高まる中、舞鶴高専と連携して、高専生のアントレプレナーシップ（起業家精神）の育成や、子どもたちへのSTEM教育の実施、リスキリング機会の提供等を通して、地域の活性化を支える人材の育成を目指す。					
	1. アントレプレナーシップ教育の推進	舞鶴高専出身でまいづる親善大使の田中邦裕氏（さくらインターネット（株）代表取締役社長）をはじめ、地元企業や金融機関等との連携のもと、高専生のアントレプレナーシップ教育を推進する。				
	2. STEM教育の推進	小・中学生を対象としたプログラミングやゲーム開発、ロボット製作等の公開講座の実施を通して、地域のSTEM教育を推進する。 ※STEM教育とは、「科学（Science）」「技術（Technology）」「工学（Engineering）」「数学（Mathematics）」を統合的に学び、数理的思考力を育む教育のこと。				
	3. リスキリング機会の提供	キャリア形成やスキルアップを望む女性に対するプログラミング教室を実施するなど、リスキリングの機会を提供する。				
財 源 内 訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	2,500	地域未来交付金（1/2）			12
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	2,500	ふるさと応援寄附金			20
	一般財源	-				
担当課 企画政策 課			課長名	後 厚史	内線番号	1330

令和8年度 主な事務事業調

No. 21

事業名	シビック・プライド向上推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	2,000 千円		予算書	28 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	()

事業の目的	地域や自治体に対する舞鶴市民の誇りや愛着、また地域社会に貢献する意識を醸成するため、市内外においてシビック・プライドや郷土愛を育む事業を展開し、関係人口に結びつく「舞鶴ファン」をつくり育て、活気ある住みやすい地域づくりを積極的に推進する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○市外在住者向け事業 舞鶴出身者や舞鶴市に縁のある市外在住者との交流やコミュニティと連携し、「外」から舞鶴市をサポートする「舞鶴ファン」の増加を促進 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○市内在住者向け事業 市内在住者を対象に舞鶴のことを知って学び、地域の魅力を再発見・共有できるワークショップの開催等 	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生向け事業 大学生のフィールドワーク誘致し、継続的に本市へ訪れる学生を増やし、関係人口を拡大 	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,000	地域未来交付金(1/2)	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,000	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	-		
担当課 ふるさと応援 課		課長名 砂田 敏昌	内線番号	1220

令和8年度 主な事務事業調

No. 22

事業名	結婚支援事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	1,100 千円		予算書	29 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴市の豊かな自然、地域資源等の魅力を活用しながら、結婚を希望する方々に出会いの場や機会を提供できるよう、京都府や関係機関とも連携を強化し、婚活イベントを実施することで、市内での婚姻を後押しし、移住・定住促進と持続可能な地域づくりにつなげる。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○舞鶴市主催の婚活イベントの実施 舞鶴市内で活動する婚活マスター やきょうと婚活応援センター、市内関係機関と幅広く連携したイベントを実施 ○SNSを活用した広報活動 ターゲットを明確にした戦略的な広報を展開し、市外在住者の参加促進を図る。 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	733	地域少子化対策重点推進交付金(2/3)		15
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		367			
担当課 ふるさと応援 課			課長名 砂田 敏昌	内線番号	1220

令和8年度 主な事務事業調

No. 23

事業名	整備新幹線誘致推進費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	3,400 千円			予算書	29 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	北陸新幹線の敦賀以西ルートの再検討において舞鶴を経由する2ルートが検討対象となる中、交通利便性の向上や人流の創出、京都府北部の地域活性化、さらには、本市が有する「国防・海の安全」「エネルギー」「物流」の要衝としての機能を飛躍的に強化し、災害や荒天時の太平洋側のバックアップを担うリダンダンシー（代替機能）を確保することで、強靭な「日本海国土軸」を形成することを目指し、北陸新幹線の舞鶴誘致に取り組む。
	また、さらなる日本海国土軸の形成による国土強靭化と、日本海側地域全体の発展につながるよう、山陰新幹線整備計画の格上げを目指す。
事業の内容	■北陸新幹線の舞鶴誘致に向けた要望活動及び機運醸成 決起大会の開催、市民全体の機運の盛り上げ、市民運動の展開
	■山陰新幹線整備計画の格上げ及び京都府北部ルートの誘致

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,400		
担当課		企画政策課	課長名 後 厚史 川北 大智 (主幹兼交通政策担当課長)	内線 1330 番号 1321

令和8年度 主な事務事業調

No. 24

事業名	移住促進・空き家改修支援事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	13,480 千円		予算書	29 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	移住促進を効果的に進めるため、空き家を登録し、移住希望者へ紹介する「空き家情報バンク」の充実を図るとともに、地域での移住者の受け入れ体制を強化し、移住への流れを促進する。				
	【助成対象】 移住促進特別区域（加佐地区、大浦地区、池内地区、高野地区、四所地区）内の空き家であること				
事業の内容	○移住者等への助成（住宅改修費）	12,600 千円	・新規登録で入居された空き家	1,800 千円/戸	
	○空き家提供者への助成	800 千円	(空き家を提供するための準備経費)		
	・新規登録で入居された空き家	100 千円/戸			
	○地域受入団体への助成	80 千円	(移住希望者との面談等、地域への円滑な移住をサポートするための経費)		
	・空き家への入居受け入れ毎	10 千円/回			
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	3,150	地域未来交付金（1/2）		12
	府支出金	6,700	京都府移住促進事業費補助金（1/2）		15
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源					
担当課 ふるさと応援 課			課長名 砂田 敏昌	内線番号	1220

令和8年度 主な事務事業調

No. 25

事業名	地域おこし協力隊活動事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	12,240 千円			予算書 事業区分	29 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	都市部に住む若者等が少子化や過疎化などの課題を抱える地方に移住して地域協力活動を行いながら、定住・定着を図る「地域おこし協力隊」を採用し、まちづくり活動をはじめ、本市の魅力発信等の活動を行い、さらなる移住・定住の推進と関係人口の創出を図る。																											
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域おこし協力隊の活動経費（2名分） <ul style="list-style-type: none"> (移住定住の促進とまちの活性化の実現に向けた活動) <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会への参加や本市の魅力発信による移住促進の取組 ・受入事業者とまちの活性化に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> (1) 中高生の探究事業のサポートなどの人材育成による定住促進 (2) 大浦地域のブランディングによる活性化 																											
事業の内容	<pre> graph TD 市[市] <--> 受入事業者[受入事業者] 受入事業者 <--> 協力队员[協力队员] 受入事業者 -- "サポート" --> 協力队员 </pre>																											
	<p>※本事業に要する経費は特別交付税措置の対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>12,240</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	-			府支出金	-			地方債	-			その他	-			一般財源	12,240	
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																									
国支出金	-																											
府支出金	-																											
地方債	-																											
その他	-																											
一般財源	12,240																											
財源内訳	<p>担当課 ふるさと応援 課 課長名 砂田 敏昌 内線番号 1220</p>																											

令和8年度 主な事務事業調

No. 26

事業名	多様なデジタル人材育成事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	3,700 千円		予算書	29 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	地方都市における女性活躍の環境づくりに資するため、比較的就労時間が柔軟で、男女の賃金格差が小さいデジタル分野のスキルの習得をサポートし、女性の就労支援やキャリア形成を後押しし、経済的自立を促す。								
	併せて、市内事業所のDX化を推進し、デジタル人材の地域への定着を図る。								
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルマーケティング人材育成プログラムの実施 (デジタル人材育成の専門家による講義等) ○プログラム受講者のキャリア相談 ○市内外事業所へのインターンシップの実施 ○デジタルマーケティングの重要性を学ぶセミナー等の開催 								
	<p>※参考（令和5年度からの実績）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">デジタルマーケティング講座修了者</td> <td style="width: 10%;">R5年度</td> <td style="width: 10%;">10名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R6年度</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7年度</td> <td>7名</td> </tr> </table>	デジタルマーケティング講座修了者	R5年度	10名		R6年度	8名		R7年度
デジタルマーケティング講座修了者	R5年度	10名							
	R6年度	8名							
	R7年度	7名							

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,800	地域女性活躍推進交付金(1/2)	12
府支出金	-			
地方債	-			
その他	100	雑入(受講料)		23
一般財源	1,800			
担当課	人権啓発推進 産業活力	課	課長名 嵯峨根 貴 山内 勇輔	内線 1276 番号 1215

令和8年度 主な事務事業調

No. 27

事業名	マザーズジョブカフェ推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	6,813 千円			予算書	29 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	子育て中の女性をターゲットに、就労やリモートワーク、リスキリング（技術などの学び直し）などのスキルアップ支援のほか、子どもの短時間一時預かりを実施する「マザーズジョブカフェ」を男女共同参画センター「フレアス舞鶴」で展開することで、働く女性、働きたい女性を中心に、働きやすい環境づくりに資する取組みを行う。						
	<ul style="list-style-type: none"> ○女性活躍を後押しするスキルアップセミナー等の開催 ○キャリアカウンセラーによる「オンライン相談会」の実施 (月1回程度) <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成や起業、働くことに関する相談支援 ○働きたい女性、子育て世代をターゲットとしたコワーキングスペースを提供 ○託児ルームでの「短時間一時預かり」の実施 (週2回) 						
事業の内容	<p>※事業費内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">①フレアス舞鶴職員人件費 (2名分)</td> <td style="width: 70%;">4,866千円</td> </tr> <tr> <td>②セミナー等開催経費</td> <td>539千円</td> </tr> <tr> <td>③短時間一時預かり実施経費</td> <td>1,408千円</td> </tr> </table>	①フレアス舞鶴職員人件費 (2名分)	4,866千円	②セミナー等開催経費	539千円	③短時間一時預かり実施経費	1,408千円
①フレアス舞鶴職員人件費 (2名分)	4,866千円						
②セミナー等開催経費	539千円						
③短時間一時預かり実施経費	1,408千円						

財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	3,109	地域女性活躍推進交付金 (1/2)、重層的支援体制整備事業交付金 (1/3)	12
	府支出金	409	重層的支援体制整備事業交付金 (1/3)	16
	地方債	-		
	その他	180	雑入 (託児料)	23
	一般財源	3,115		

担当課	人権啓発推進 課	課長名	嵯峨根 貴	内線番号	1276
-----	----------	-----	-------	------	------

令和8年度 主な事務事業調

No. 28

事業名	公共交通利便性向上推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 交通対策費
事業費	2,010 千円		予算書	29	頁
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	公共交通利用者の利便性向上を図るとともに、訪日観光客の対応を円滑にするため、タクシーへのキャッシュレス決済の導入及びバスロケーションシステムの実証実験を行う。				
	■キャッシュレス決済導入促進補助金 1,580千円 市内タクシー事業者へのキャッシュレス決済導入に係る経費補助 補助率：10／10				
事業の内容	■バスロケーションシステムの実証実験 430千円 バス利用者が、バスの位置情報をスマートフォン等で確認できる システムの実証実験を一部路線で実施				
	※バスロケーションシステムとは GPSなどを活用してバスの現在位置をリアルタイムに把握し、 利用者へスマートフォンやウェブを通じて提供するシステム				
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		
	国支出金	1,580	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（定額）		
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		430			
担当課	企画政策	課	課長名	後 厚史 川北 大智 (主幹兼交通政策担当課長)	内線 1330 番号 1321

令和8年度 主な事務事業調

No. 29

事業名	舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	827 千円			予算書	29 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	持続可能で利便性の高い公共交通を目指し、「舞鶴市公共交通ネットワーク会議」が「地域公共交通計画」に基づき実施する公共交通利用促進事業に対して支援を行う。	
	■ 「地域公共交通計画」に基づく公共交通利用促進事業	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ・マネジメントイベント（のり乗りフェスタ等）の開催 400千円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通シンポジウム、地域勉強会等の開催 277千円 交通人材の不足や利用者の減少など、公共交通が厳しい状況にある中、市民と現状と課題を共有し、市全体で地域公共交通ネットワークを支える機運を醸成することを目的に開催 	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通人材確保対策補助金 150千円 バス、タクシー事業者が、人材確保のために実施する求人募集広告料等に対する支援 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	827		
担当課 企画政策 課		課長名	後 厚史 川北 大智 (主幹兼交通政策担当課長)	内線 1330 番号 1321

令和8年度 主な事務事業調

No. 30

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 交通対策費
事業費	92,920 千円			予算書 事業区分	30 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	<p>京都丹後鉄道の線路・車両等の基盤等保有会社である北近畿タンゴ鉄道が、運行の安全を確保するために実施する事業等に対し、国及び沿線自治体（2府県及び5市2町）により支援を行う。</p> <p>また、京都丹後鉄道の利用促進のため沿線市町（6市2町）で構成する「京都丹後鉄道利用促進協議会」の運営等のため、分担金を負担する。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 北近畿タンゴ鉄道基盤管理補助 56,186千円 基盤管理委託料、管理経費分に対する補助 北近畿タンゴ鉄道経営対策補助 12,700千円 固定資産税相当額分、西駅交流センター賃借料分に対する補助 北近畿タンゴ鉄道基盤整備補助 16,672千円 車両の検査等の安全性の向上に資する事業に対する補助 地域公共交通再構築事業費補助 7,184千円 「京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画」に基づいて実施する持続可能性・利便性・効率性の向上に資する鉄道施設の設備投資・更新に対する補助 協議会分担金等 178千円 				
事業の内容	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	3,592	社会資本整備総合交付金（1/2）		12
財源内訳	府支出金	-			
	地方債	20,100	総務債		23
	その他	-			
	一般財源	69,228			
	担当課	企画政策	課 課長名	後 厚史 川北 大智 (主幹兼交通政策担当課長)	内線 番号 1330 1321

令和8年度 主な事務事業調

No. 31

事業名	地域公共交通維持確保対策費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 交通対策費
事業費	95,790 千円			予算書	30 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	市民生活の移動手段として重要な役割を果たす地域公共交通の維持確保を図るため、国、府と共に支援を行う。	
事業の内容	■公共交通（バス路線）	90,150千円
	・京都交通バス路線への補助 高浜線、大江線（2系統）、東西循環線（2路線）、 和田線、常・溝尻循環線、朝来循環線、三浜線（2系統）、 田井・野原線（5系統）、長浜循環線、真倉線、市場循環線	71,300千円
	・自主運行バス路線（6地域）への補助 岡田中バス、池内バス、西大浦バス、青井校区バス、 杉山・登尾バス、多門院バス	18,850千円
	■公共ライドシェア	5,640千円
	・高野地域協議会（m e e m o）への補助	3,000千円
	・アプリ使用料	2,640千円

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	30,750	市町村運行確保生活路線維持費補助金（1/2）	16
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	65,040		
担当課		企画政策 課	課長名 後 厚史 川北 大智 (主幹兼交通政策担当課長)	内線 1330 番号 1321

令和8年度 主な事務事業調

No. 32

事業名	公共交通人材確保対策奨励金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 交通対策費
事業費	4,550 千円		予算書	30 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	路線バス・タクシーの運転士不足が深刻化する中、公共交通の維持・確保を図るため、新たな担い手の確保及び就業意欲を高める支援を行う。							
	<p>○新規運転士就業支援</p> <p>(1) 対象交通事業者</p> <p>市内に営業所を有する路線バス、タクシー事業者 市内自主運行バス（6協議会） ※但し、福祉・介護タクシー事業者を除く</p> <p>(2) 支援内容</p> <p>令和5年4月以降に雇用された運転士に対し、採用から経過年数及び年齢に応じた奨励金を交付（合計4回、最大100万円）</p> <p>＜交付時期イメージ（R8.4.1採用の例）＞</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">(R8) 試用期間 終了後</td> <td style="text-align: center;">(R9) 1年 経過後</td> <td style="text-align: center;">(R10) 2年 経過後</td> <td style="text-align: center;">(R11) 3年 経過後</td> </tr> </table> <p>※採用から3年経過までの各段階で奨励金を交付</p>					(R8) 試用期間 終了後	(R9) 1年 経過後	(R10) 2年 経過後
(R8) 試用期間 終了後	(R9) 1年 経過後	(R10) 2年 経過後	(R11) 3年 経過後					
事業の内容	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）					
	国支出金	4,550	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（定額）					

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	4,550	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（定額）	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源				
担当課	企画政策	課	課長名	後 厚史 川北 大智 (主幹兼交通政策担当課長)
				内線番号 1330 1321

令和8年度 主な事務事業調

No. 33

事業名	DV相談支援事業費（うちカウンセリング相談分）					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
事業費	466 千円			予算書	35	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	令和4年3月までは本市でも「女性のためのカウンセリング」を実施していたが、利用者の減少を理由に廃止している。 令和4年9月の配偶者暴力相談支援センター開設以降、年々、困難な問題を抱える女性の相談が増加し、専門家によるカウンセリングの必要性が高まっていることから、「女性のためのカウンセリング」を 令和8年度より再開するもの。					
	実施内容：カウンセリング相談（月1回3コマ実施） 対象者：舞鶴市在住の女性 委託先：(株)ウィメンズカウンセリング京都					
事業の内容						
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	232	地域女性活躍推進交付金（1/2）			12
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	234				
担当課 生活支援相談 課			課長名	上西 明		内線番号 1178

令和8年度 主な事務事業調

No. 34

事業名	重層的支援体制整備事業（対象事業一覧）		
費目	総務費、民生費、衛生費		
事業費	429,742 千円	予算書 事業区分	- 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	重層的支援体制整備事業に取り組み、「包括的相談支援事業」「地域づくり事業」「多機関協働事業」「参加支援事業」「アウトリーチ支援事業」を一体的に実施することにより、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、地域住民の誰もが役割をもち、支え合いながら、地域と共に創っていく「地域共生社会」の実現に取り組むもの。		
	【包括的相談支援事業】		
	1. 生活困窮者自立相談支援事業費	17,089千円	
	2. 障害者相談支援事業費	21,000千円	(No.39)
	3. 障害者相談支援事業費（身障センター）	7,000千円	(No.39)
	4. 総合相談事業費	165,612千円	
	5. 権利擁護事業費	5,937千円	
	6. 包括的・継続的マネジメント支援事業費	245千円	
	7. こども家庭センター運営経費	26,791千円	
	8. K i d s ・ F i e l d プロモーション事業費	7,170千円	(No.49)
	9. 妊産婦・新生児訪問指導事業費	2,340千円	
	10. 妊娠出産包括支援事業費	2,524千円	
	11. 職員給与費	8,834千円	
	【地域づくり事業】		
	12. マザーズジョブカフェ推進事業費	1,408千円	(No.27)
	13. 障害者地域活動支援センター事業費	19,000千円	(No.39)
	14. 障害者地域活動支援センター事業費（身障センター）	11,000千円	(No.39)
	15. 農閑期介護予防事業費	196千円	
	16. 認知症予防プログラム事業費	234千円	
	17. 運動指導員派遣事業費	9,704千円	
	18. いきがいデイサービス事業費	10,875千円	
	19. 介護予防活動支援事業費	1,793千円	
	20. 生活支援体制整備事業費	12,151千円	
	21. 子育て交流施設管理運営経費	41,092千円	
	22. 地域子育て支援拠点運営経費	19,053千円	
	23. こども家庭センター運営経費	8,812千円	
	【多機関協働事業等】		
	24. 多機関協働事業費	21,997千円	(No.35)
	25. 参加支援事業費	6,345千円	(No.36)
	26. アウトリーチ支援事業費	88千円	
	27. 成年後見支援センター運営事業費	1,452千円	

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	164,968	重層的支援体制整備事業交付金（20/100、1/3、38.5/100、1/2、2/3、3/4）、介護保険低所得者保険料軽減負担金（定額）	11・12・13
	府支出金	77,561	重層的支援体制整備事業交付金（12.5/100、1/6、19.25/100、1/4、1/3）、介護保険低所得者保険料軽減負担金（定額）	15・16・17
	地方債	-		
	その他	56,671	介護保険事業会計繰入金 ほか	8・21・23
	一般財源	130,542		

令和8年度 主な事務事業調

No. 35

事業名	多機関協働事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉総務費
事業費	19,909 千円			予算書 事業区分	35 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	<p>単独の相談支援機関では対応が難しい複合・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関が連携する仕組みを構築するため、令和5年度から重層的支援体制整備事業への移行準備事業を行い、令和7年度からは本格実施へ移行し、多機関協働事業に取り組んできた。</p> <p>令和8年度においても、引き続き、相談支援機関の負担が軽減され、各機関が本来の機能を発揮し連携する持続可能な相談支援体制の構築に取り組む。</p>				
	<p>○多機関協働事業・庁内連携体制の構築</p> <p>社会福祉協議会に「包括化推進員」3人、市の生活支援相談課に「庁内包括マネージャー」1人を配置し、複合・複雑化した課題に対し、支援会議等において関係機関の役割分担や支援の方向性を定め、事例全体の調整役を担うことにより、関係機関を支援する。</p>				
事業の内容					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	10,282	重層的支援体制整備事業交付金(1/2、3/4)		12
	府支出金	4,573	重層的支援体制整備事業交付金(1/4)		16
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		5,054			
担当課	福祉企画 生活支援相談	課	課長名	瀬野 薫 上西 明	内線 2290 番号 1178

令和8年度 主な事務事業調

No. 36

事業名	参加支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉総務費
事業費	6,345 千円			予算書 事業区分	35 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	既存の社会参加事業では対応できない就労支援や居場所づくりなど、制度の狭間にある個別ニーズに対応するため、本人やその世帯の支援ニーズと地域の社会資源の調整を行い、多様な社会参加の実現を目指すもの。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉協議会に「参加支援コーディネーター」1名を配置 令和7年度の取組を踏まえ、実情に即した支援の仕組化や資源開発を段階的に進める。 ・ 支援メニューとのマッチング 本人やその世帯の状況と支援ニーズに合った居場所や就労につながる事業等とのマッチングを実施 ・ 丁寧な伴走支援 マッチング前後における、社会参加につながるまでや定着するまでのフォローアップ等を実施 ・ 多様な支援メニューの作成 既存の社会資源の活用や、分野を超えた支援機関間連携による取組の試行・検証を行い、新たな資源を開発する。 			
事業の内容				
	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
財源内訳	国支出金	2,878	重層的支援体制整備事業交付金（1/2）	12
	府支出金	1,288	重層的支援体制整備事業交付金（1/4）	16
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,179		
担当課	福祉企画	課	課長名 瀬野 薫	内線番号 2290

令和8年度 主な事務事業調

No. 37

事業名	まいづる福祉人材未来プロジェクト事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 市民福祉ささえ あい基金費
事業費	22,484 千円		予算書	36 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	喫緊の課題である福祉分野の人材不足の解消に向け、令和7年度から9年度の3ヶ年で、市内高齢者・障害者福祉サービス事業所に就労される方への奨励金支給や外国人人材の生活支援、福祉職場の魅力発信などの取組を総合的に実施し、人材の確保・定着を図り、持続可能な福祉サービスの提供体制の構築を目指す。																
	①復職者・新規就労者への支援	8,590千円	<ul style="list-style-type: none"> ・復職奨励金 10万円…過去に介護職員等としての勤務経験があり、離職後1年以上経過後、事業所等に採用された方 ・転入奨励金 20万円…市外から転入し、新たに事業所等に採用された方 ・転入者家賃補助 1戸あたり3万円/月（上限）…市外から転入し、新たに勤務する方 ・継続就労奨励金 5万円…常勤勤務を6ヶ月以上または1年以上継続している方 														
	②ヘルパー就労者・事業所への支援	3,350千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー就労奨励金 20万円（最大）…新たに市内の訪問介護事業所でヘルパーとして週12時間以上勤務される方 ・ヘルパー遠隔地訪問支援補助金 訪問1回あたり400円…遠隔地の利用者宅へサービスを提供する事業所 														
	③外国人人材への生活支援	9,700千円	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃補助 1戸あたり3万円/月（上限）…外国人職員に家賃補助をしている事業者 ・自転車購入補助 1台あたり6万円（上限）…通勤距離等が2km以上ある外国人職員のために電動アシスト付き自転車を購入する事業者 ・日本語教室の開催…事業所に勤務する外国人職員対象 														
	④資格取得への支援	594千円	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員実務研修や介護福祉士受験などの費用を助成 														
	⑤多様な人材の確保、魅力発信等	250千円	<ul style="list-style-type: none"> ・介護助手養成講座の実施…介護専門職の補助として就労する人を養成等 														
※当該事業は3ヶ年の时限措置（2年目）																	
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書												
	国支出金	21,844	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（定額）		12												
	府支出金	-															
	地方債	-															
	その他	640	市民福祉ささえあい基金繰入金、雑入（日本語教室参加者負担金）		21・23												
	一般財源	-															
<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>高齢者支援 障害福祉・国民年金</td> <td>課</td> <td>課長名</td> <td>半林 大槻</td> <td>美恵 成雄</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2140 番号</td> <td>2130</td> </tr> </table>						担当課	高齢者支援 障害福祉・国民年金	課	課長名	半林 大槻	美恵 成雄					2140 番号	2130
担当課	高齢者支援 障害福祉・国民年金	課	課長名	半林 大槻	美恵 成雄												
				2140 番号	2130												



令和8年度 主な事務事業調

No. 38

事業名	障害者自立支援給付費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費 児童福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費 児童福祉措置費
事業費	2,429,766 千円			予算書	37・38・42 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、障害者総合支援法に基づく下記の事業を実施するもの。		
事業の内容	【自立支援給付】 ○施設支援給付費 ○短期入所（ショートステイ）給付費 ○居宅介護（ホームヘルプ）給付費 ○障害者共同生活援助給付費（グループホーム） ○重度視覚障害（児）者同行援護給付費 ○障害者計画相談支援給付費 ○障害者虐待防止支援事業費	2,332,503千円 1,796,185千円 26,528千円 110,755千円 324,044千円 25,953千円 48,938千円 100千円	予算書
	【自立支援医療給付】 [更生医療等65,660千円、育成医療（児童福祉措置費）603千円]	66,263千円	
	【補装具給付】	31,000千円	
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）
	国支出金	1,214,464	障害者介護給付・訓練等給付費負担金（1/2） 障害者医療費（育成医療）負担金（1/2）ほか
	府支出金	607,531	障害者介護給付・訓練等給付費負担金（1/4） 障害者自立支援医療費（育成医療）負担金（1/4）ほか
	地方債	-	
	その他	-	
	一般財源	607,771	
担当課	障害福祉・国民年金 子育て応援	課	課長名 大槻 成雄 野田 諭史
			内線 2130 番号 2150

令和8年度 主な事務事業調

No. 39

事業名	障害者地域生活支援事業費			
費目	款	民生費	項	社会福祉費 目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費
事業費	117,571 千円		予算書 事業区分 新規・拡大・継続	37・38 頁

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、下記の市町村独自事業を実施するもの。			
	<p>【地域生活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者相談支援事業費 28,000千円 (4か所の障害者支援センターによる相談支援) ○地域活動支援センター事業費 30,000千円 ○障害（児）者等移動支援事業費 3,496千円 (重度身体障害者等の移動支援) ○聴覚言語障害者等支援事業費 15,461千円 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣) ○日常生活用具給付事業費 26,000千円 ○障害（児）者日中一時支援事業費 9,748千円 ○心身障害者訪問入浴サービス事業費 4,431千円 ○成年後見制度利用支援事業費 435千円 			
事業の内容				
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	
	国支出金	45,754	重層的支援体制整備事業交付金（1/2） 障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）	
	府支出金	22,876	重層的支援体制整備事業交付金（1/4） 障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）	
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	48,941		
担当課	障害福祉・国民年金 子育て応援	課	課長名 大槻 成雄 野田 諭史	内線 2130 番号 2150

令和8年度 主な事務事業調

No. 40

事業名	後期高齢者医療療養給付費負担金・後期高齢者医療事業会計繰出金				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目
事業費	1,515,318 千円			予算書	38・39 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費のうち、京都府後期高齢者医療広域連合へ納める負担金等。				
<hr/>					
事業の内容	○後期高齢者医療療養給付費負担金	1,067,354千円			
	医療費の1/12				
<hr/>					
財源内訳	○後期高齢者医療事業会計繰出金	447,964千円			
	・保険基盤安定分	366,791千円			
	・事務費分	81,173千円			
<hr/>					
担当課	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	176	地域未来交付金(1/2)		12
	府支出金	275,093	後期高齢者医療保険基盤安定負担金(3/4)		15
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	1,240,049			
<hr/>					
担当課		保険医療	課長名	濱田 真義	内線番号 2160

令和8年度 主な事務事業調

No. 41

事業名	人権啓発事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	1, 492 千円			予算書	40	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会を築くため、「舞鶴市人権教育・啓発推進計画」に基づき、広く市民に人権の大切さを訴えるなど、人権意識の向上を図るための啓発を行う。 地域社会における多様な個性や背景を持つ人々が互いを認め合い、相互理解が促進されるインクルージョン（社会的包摂）の実現に向け、実効性のある事業を実施する。		
事業の内容	○人権のつどい（年1回）	624千円	12月の人権週間に合わせて開催。中学生の人権作文発表や講演会、人権標語の展示を通じ、市民の人権尊重意識の醸成を図る。
	○人権の花運動（年4回）	237千円	市内4園校の園児・児童を対象に、水仙の栽培支援を実施する。植物を育てる過程で生命の尊さや思いやりの心を学び、幼い頃から差別のない社会を築くための意識の基盤を作る。
	○人権フェスタ（年1回）	335千円	8月の人権強調月間に合わせて開催。子どもたちを対象とした映画上映や人権擁護委員による「人権教室」を実施し、個性の尊重や多様性を認め合うことの大切さを学ぶ。
	○人権啓発研修会（年3回）	296千円	性の多様性への理解を深める事業や、SNS上のいじめや誹謗中傷などインターネットの権利侵害防止に向けた情報リテラシー啓発などを実施する。

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	783	人権啓発事業費補助金（1/2） 人権啓発事業委託金	16・20
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	709		
担当課		人権啓発推進 課	課長名	嵯峨根 貴 内線番号 1276

令和8年度 主な事務事業調

No. 42

事業名	(仮称) 中地区公立認定こども園整備事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉総務費
事業費	202,690 千円			予算書 事業区分	41 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	老朽化が著しい市立中保育所について、未就園児を対象とした子育て支援事業等を実施する子育て支援室や医療的ケア児保育室等を設置し、多様化する保育ニーズへ対応するとともに、公立施設が担うべきセーフティーネット機能を強化し、本市の中核的な拠点として整備することで、子育て環境のさらなる充実を図る。																												
	<p>1.新施設（予定）</p> <table> <tr> <td>建設地</td> <td>中総合会館南側（舞鶴市字余部下）</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄骨造・2階建</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>1,329.89m²</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td>教育標準時間認定（1号） 15人 保育認定（2号・3号） 90人（うち、0～2歳児 39人） 計 105人</td> </tr> </table> <p>2.今後のスケジュール（予定）</p> <table> <tr> <td>令和8～9年度</td> <td>建設工事</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>幼保連携型認定こども園として開園</td> </tr> </table> <p>[債務負担行為]</p> <table> <tr> <td>期間</td> <td>令和8年度～令和9年度</td> </tr> <tr> <td>限度額</td> <td>1,029,000千円</td> </tr> </table> <p>[参考]</p> <table> <tr> <td>現施設</td> <td>舞鶴市立中保育所（舞鶴市字余部下）</td> </tr> <tr> <td>建築年月</td> <td>昭和56年3月</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄骨造・平屋建</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>1,183.33m²</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td>200名</td> </tr> <tr> <td>在籍児童</td> <td>75名（令和8年1月1日現在）</td> </tr> </table>		建設地	中総合会館南側（舞鶴市字余部下）	建物構造	鉄骨造・2階建	延床面積	1,329.89m ²	利用定員	教育標準時間認定（1号） 15人 保育認定（2号・3号） 90人（うち、0～2歳児 39人） 計 105人	令和8～9年度	建設工事	令和10年度	幼保連携型認定こども園として開園	期間	令和8年度～令和9年度	限度額	1,029,000千円	現施設	舞鶴市立中保育所（舞鶴市字余部下）	建築年月	昭和56年3月	建物構造	鉄骨造・平屋建	延床面積	1,183.33m ²	利用定員	200名	在籍児童
建設地	中総合会館南側（舞鶴市字余部下）																												
建物構造	鉄骨造・2階建																												
延床面積	1,329.89m ²																												
利用定員	教育標準時間認定（1号） 15人 保育認定（2号・3号） 90人（うち、0～2歳児 39人） 計 105人																												
令和8～9年度	建設工事																												
令和10年度	幼保連携型認定こども園として開園																												
期間	令和8年度～令和9年度																												
限度額	1,029,000千円																												
現施設	舞鶴市立中保育所（舞鶴市字余部下）																												
建築年月	昭和56年3月																												
建物構造	鉄骨造・平屋建																												
延床面積	1,183.33m ²																												
利用定員	200名																												
在籍児童	75名（令和8年1月1日現在）																												
事業の内容																													

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	102,947	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金(2/3)	12
府支出金	-			
地方債	99,700	児童福祉債		23
その他	-			
一般財源	43			
担当課	乳幼児教育推進課	課長名	井上 正彦	内線番号 2471

令和8年度 主な事務事業調

No. 43

事業名	<概要版>保育所・認定こども園等運営事業					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費			教育費		幼稚園費	
3,364,579 千円			予算書		41・42・ 43・44・69	頁
			事業区分		新規・拡大・継続	

事業の目的	ニーズに応じた保育の提供、質の高い乳幼児教育の推進等、子育てしやすいまちを目指し、良好な保育・教育環境づくりを推進する。					
事業の内容	1. 認可保育園、認定こども園の運営経費					
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育委託事業費（私立2園分） 186,284千円 ・施設型給付費（2・3号、私立18園分） 1,642,283千円 ・施設型給付費（1号、私立18園分）<教育費> 651,241千円 ・中保育所管理運営経費（公立1園分） 206,720千円 ・認定こども園管理運営経費（公立2園分） 474,837千円 					
	2. 保育士確保施策					
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士就労奨励事業費 4,200千円 ・将来を見据えた保育人材確保事業費 30,759千円 ・保育士の就業促進補助金 ※令和10年度廃止予定 4,560千円 ・保育士の待遇改善事業費補助金 47,280千円 					
	3. 保育所等で行う保護者支援事業					
財源内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等衛生環境充実事業費（公立園分を含む。） 527千円 ・一時預かり事業費補助金<民生費・教育費> 42,916千円 ・延長保育促進事業費補助金 10,400千円 ・保育所等発達支援事業費補助金 51,732千円 ・病児保育支援事業費 10,840千円 					
	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	1,239,385	子どものための教育・保育給付交付金（1/2、60/100）他			11・12・ 14
	府支出金	691,883	子どものための教育・保育給付交付金（1/4、20/100）他			15・16・ 19
	地方債	-				
	その他	118,861	保育所保育料、保育所使用料、認定こども園使用料、ふるさと応援寄附金、雑入（給食代）他			8・20・ 23
	一般財源	1,314,450				
担当課 乳幼児教育推進 課			課長名	井上 正彦	内線番号	2471

令和8年度 主な事務事業調

No. 44

事業名	医療的ケア児支援事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	24,002 千円			予算書	41 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業 目的	日常的に人工呼吸器の管理やたん吸引などの医療的ケアを必要とする児童とその家族が安全・安心に生活できるよう、介護負担の軽減や保育所等での受け入れを行う。 また、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、個々の状況に応じて関係分野との調整を行うことで、切れ目のない支援体制の構築を目指す。											
	【事業概要】											
①医療的ケア児居宅生活支援事業 2,244千円 ・居宅医療的ケア児支援 (居宅や通園先に看護師等を派遣し、家族の負担を軽減する) ・福祉タクシー利用券交付(通院等外出支援)												
②医療的ケア児等コーディネーター委託事業 262千円												
③医療的ケア児障害児通所給付費 1,418千円 ・短期入所受入体制補助 ・短期入所開始アセスメント補助 ・相談支援専門員モニタリング補助												
④医療的ケア児日常生活用具給付費 300千円 ・日常生活用具として、非常用電源を給付												
⑤保育所等での医療的ケア児受け入れのための看護師配置等 19,778千円												
事業 内容 財 源 内 訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書						
	国支出金	1,403	児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金(1/2) 障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)			12						
	府支出金	12,163	保育対策総合支援事業費補助金(5/6) 障害者地域生活支援事業費補助金(1/4) 医療的ケア児者・重症心身障害児者福祉サービス利用等促進事業補助金(1/2)			16						
	地方債	-										
	その他	-										
	一般財源	10,436										
担当課	こども家庭しあわせ 子育て応援 乳幼児教育推進	課	課長名	瀬野 勝久 野田 諭史 井上 正彦	内線番号	6200 2150 2471						

令和8年度 主な事務事業調

No. 45

事業名	私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	184,141 千円			予算書 事業区分	41 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	「幼保連携型認定こども園」への移行を目指す私立幼稚園に対して、認定こども園の認可・開設に向け必要な施設改修費を支援することにより、円滑な移行を推進するとともに、新たに「3号認定子ども」(0歳児～2歳児)の受け入れが可能な体制を整備・促進し、引き続き待機児童ゼロを確保するなど子育て環境のさらなる充実を図る。
	<p>【対象施設】 学校法人鈴鹿学園 志楽幼稚園（田中町）</p> <p>【工事内容（予定）】 現園舎の建替整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新園舎の施設規模等：鉄骨造2階建、延床面積 991.42m² ●建設事業費（補助対象事業費）：約3億5,074万円 うち、令和8年度執行予定額：約2億4,552万円 ●工期：令和8年1月～令和9年3月（予定） 令和7年度 設計業務、仮園舎整備工事、旧園舎解体工事 他 令和8年度 新園舎整備工事 <p>【負担割合】 保育部分 国：2／3、市：1／12、事業者：1／4 教育部分 国：1／2、市：1／4、事業者：1／4</p> <p>【移行後の利用定員等（予定）】 令和9年4月に幼保連携型認定こども園として開園 移行後の利用定員 教育標準時間認定（1号） 45人 保育認定（2号・3号） 50人（うち、0～2歳児 20人） 計95人 (参考) 令和8年1月1日現在の在園児数 87人</p>
事業の内容	

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	143,640	就学前教育・保育施設整備交付金（1/2、2/3）	12
府支出金	-			
地方債	40,500	児童福祉債		23
その他	-			
一般財源	1			
担当課 乳幼児教育推進課	課長名	井上 正彦	内線番号	2471

令和8年度 主な事務事業調

No. 46

事業名	乳幼児教育の質向上推進事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	3, 574 千円			予算書	42 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴市域全体の乳幼児教育の質の維持・向上を図るため、保育士等を対象とした研修を実施するほか、保育園、幼稚園、認定こども園の職員が集まる「乳幼児教育推進・連携会議」を開催し、学びや交流の機会を提供することで乳幼児教育を担う人材の育成を進める。 併せて、職員の研修参加や研修で得た学びを実践するために必要な費用等を補助することで、積極的な学びを促進し保育者等の資質向上を応援する。																
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修等の開催（市乳幼児教育センターが主催又は共催） 2. 乳幼児教育推進・連携会議の開催（年3回を予定） 3. 「乳幼児教育の質の維持・向上応援補助金」の創設【※3年間の時限措置】 舞鶴市乳幼児教育ビジョンの推進に資すると市が認める研修への参加費や実践研修・公開保育の実施に必要な教材購入費等の一部に対して、補助金を交付する。 【対象施設】私立幼稚園、保育園、認定こども園、認可外保育施設 【補助基準額】 ※施設区分や前年度（3月1日時点）の利用者数に応じて補助基準額を選定 																
事業の内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助基準額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 認可外保育施設</td> <td>35, 000円</td> </tr> <tr> <td>② 上記以外で0～2歳児の定員設定がない施設</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>～50人</td> <td>55, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～100人</td> <td>60, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～150人</td> <td>65, 000円</td> </tr> </table></td></tr></tbody> </table>	区分	補助基準額	① 認可外保育施設	35, 000円	② 上記以外で0～2歳児の定員設定がない施設	<table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>～50人</td> <td>55, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～100人</td> <td>60, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～150人</td> <td>65, 000円</td> </tr> </table>	利用者数	～50人	55, 000円		～100人	60, 000円		～150人	65, 000円	
区分	補助基準額																
① 認可外保育施設	35, 000円																
② 上記以外で0～2歳児の定員設定がない施設	<table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>～50人</td> <td>55, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～100人</td> <td>60, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～150人</td> <td>65, 000円</td> </tr> </table>	利用者数	～50人	55, 000円		～100人	60, 000円		～150人	65, 000円							
利用者数	～50人	55, 000円															
	～100人	60, 000円															
	～150人	65, 000円															
③ ①及び②以外の施設	<table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>～50人</td> <td>65, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～100人</td> <td>75, 000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～150人</td> <td>80, 000円</td> </tr> </table>	利用者数	～50人	65, 000円		～100人	75, 000円		～150人	80, 000円							
利用者数	～50人	65, 000円															
	～100人	75, 000円															
	～150人	80, 000円															

 || | 上記に加え、公開保育実施施設には10万円、ミニ公開保育実施施設には3万円を加算 | |

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	1,787	ミドルリーダーの活躍による保育の質向上推進事業費 補助金（1/2）	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,700	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	87		
担当課 乳幼児教育推進 課		課長名 井上 正彦	内線番号 2471	

令和8年度 主な事務事業調

No. 47

事業名	乳児等通園支援事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	20,588 千円			予算書	42 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備することを目的に、月10時間までの範囲内で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる国の制度「子ども誰でも通園制度」を実施する。 また、認可事業者の負担軽減を図るため、事業所のICT化を支援し、民間事業者の参入を促進する。			
	1. 乳児等のための支援給付 18,338千円 「子ども誰でも通園制度」を実施する民間の認可事業所に対して、公定価格に応じて乳児等のための支援給付費を支給する。 【実施施設】公立3園のほか、民間事業所でも実施予定（現在認可手続き中） 【利用時間】1月あたり10時間の範囲で利用可能 【利用料等】利用料は事業所単位で設定（公立施設の場合は1時間300円） ※低所得者世帯、要支援世帯については利用料の減免あり 【想定利用者数】0歳児36人、1・2歳児58人（1月あたり） 2. こども誰でも通園制度ICT化推進事業費補助金 2,250千円 認可事業所において、利用可能枠の登録や入退室管理、利用料の徴収が必要となることから、それに必要なICT機器及びインターネット環境の整備、キャッシュレス決済にかかる機器の導入費用の一部を補助する。 【補助基準額】1事業所あたり20万円（補助率3/4）			
事業の内容	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	15,253	乳児等のための支援給付交付金（3/4）他	11・12

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	15,253	乳児等のための支援給付交付金（3/4）他	11・12
	府支出金	2,292	乳児等のための支援給付交付金（1/8）	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,043		
	担当課	乳幼児教育推進 課	課長名 井上 正彦	内線番号 2471

令和8年度 主な事務事業調

No. 48

事業名	放課後児童健全育成事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	203,881 千円		予算書	42	頁
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	平日の放課後や土曜日、学校の長期休業期間等に学校施設等を利用して児童を安全に預かるとともに、子どもの健やかな成長や保護者の仕事と家庭の両立支援に取り組む。 また、舞鶴市放課後児童クラブ運営方針に基づく取組を推進し、放課後児童クラブの持続可能で安定的な運営を図る。
事業の内容	<p>1. 事業委託先・実施場所 [通年開設クラブ 計29クラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小学校区の地域子育て支援協議会 (全18小学校区26クラブ、各小学校の余裕教室等で実施) 社会福祉法人舞鶴双葉寮 (児童センターふたば、桃山町) 社会福祉法人瑞光福祉会 (めだかクラブ、公文名) 社会福祉法人大樹会 (南舞鶴放課後児童クラブ、行永) <p>2. 開設日時</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日 (月～金) : 放課後～午後6時30分 土曜日、長期休暇日 : 午前8時～午後6時30分 <p>3. 利用者負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 年額 72,000円 (2子目以降は半額) <p>4. 利便性向上のための取組</p> <p>スマートフォンでいつでもどこでも児童クラブ利用にかかる申請や届出等の手続きを可能にし、子育て世帯の負担を軽減</p> <p>5. 放課後児童支援員の待遇改善</p> <p>最低賃金改定などの社会情勢を鑑みた対応や、経験や資格に応じた報酬体系の見直しを継続的に行う</p> <p>6. クラブ運営の質の向上に資する取組</p> <p>保護者との情報共有、配慮を要する児童への具体的な関わり方など、運営上、直面している課題に関する研修や意見交換会を年3回程度実施</p> <p>7. 夏休み児童クラブの設置 (東地域: 1ヶ所、西地域: 1ヶ所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者負担金 11,000円 (2子目以降は半額)

財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	63,935	子ども・子育て支援交付金 (1/3)	12
府支出金	63,935	子ども・子育て支援交付金 (1/3)	16	
地方債	-			
その他	444	夏休み児童クラブ利用者負担金 ほか	8・23	
一般財源	75,567			
担当課	子育て応援課	課長名	野田 諭史	内線番号 2150

令和8年度 主な事務事業調

No. 49

事業名	K i d s • F i e l d プロモーション事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	7, 170 千円			予算書	4 3 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴市の子育てに関する制度や子育てを応援する施設、居場所について広く周知することで、子育て世帯に「子育てにやさしいまち舞鶴」の魅力を実感してもらうとともに、舞鶴への移住者数の増加を目指す。				
事業の内容	<p>①子育てに関する制度、子育てを応援する施設や居場所の紹介等、「子育てにやさしいまち舞鶴」の魅力を詰め込んだPV（プロモーションビデオ）を作成。</p> <p>②市民活動団体と市が、イベントや日々の取り組みを紹介する動画を共同制作。 子育てに関わる市内のあらゆる市民活動団体のネットワークを活かし、SNSのリツイートや口コミを通じ、幅広い層への認知拡大を図る。</p> <p>○発信方法：SNS（YouTube、LINE、Instagram等）を活用</p>				
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	4,780	重層的支援体制整備事業交付金（2/3）		12
	府支出金	1,195	重層的支援体制整備事業交付金（1/6）		16
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		1,195			
担当課 こども家庭しあわせ 課			課長名	瀬野 勝久	内線番号 6200

令和8年度 主な事務事業調

No. 50

事業名	児童育成支援拠点事業費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	子育て支援費
事業費	8,000 千円			予算書	43	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	児童や生徒が安心して過ごせる新たな居場所となる場を開設し、児童等とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行う。
	また、支援関係機関等との連携により、個々の児童や生徒の状況に応じた支援を包括的に行い、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図る。
事業の内容	<p>【実施内容】 児童・生徒が安心して過ごせる「居場所」の開設 ※事業者を公募のうえ、開設及び事業実施を委託 主に以下の事業を実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心な居場所の提供 ②学習支援 ③生活習慣の形成（片付けや手洗い、うがい等の習慣づけ等） ④課外活動の提供 ⑤食事の提供 ⑥保護者への情報提供・相談支援 ⑦学校、地域団体等の関係機関との連携 <p>【実施スケジュール】 令和8年度・・・実事業者を選定、開設準備 （開設準備経費 4,000千円×2事業所） 令和9年度以降・・・居場所開設、事業実施</p> <p>【参考 債務負担行為】 期間 令和8年度～令和10年度 限度額 43,000千円</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	2,666	子ども・子育て支援交付金（1/3）	12
府支出金	2,666	子ども・子育て支援交付金（1/3）	16	
地方債	-			
その他	-			
一般財源	2,668			
担当課	子育て応援課	課長名	野田 諭史	内線番号 2150

令和8年度 主な事務事業調

No. 51

事業名	生活保護扶助費					
費目	款	民生費	項	生活保護費	目	扶助費
事業費	1,452,726 千円			予算書	44・45 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	生活困窮者に対し必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を支援する。					
	施設事務費	25,807 千円				
	生活扶助費	352,427 千円				
	住宅扶助費	176,252 千円				
	教育扶助費	1,654 千円				
	介護扶助費	49,780 千円				
	医療扶助費	840,024 千円				
	出産扶助費	570 千円				
	生業扶助費	1,538 千円				
	葬祭扶助費	2,874 千円				
事業の内容	就労自立給付金	600 千円				
	進学・就職準備給付金	1,200 千円				
	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書
	国支出金	1,085,797	生活保護費負担金 (3/4)			11
	府支出金	30,980	生活保護費負担金 (1/4)			15
	地方債	-				
	その他	4,992	雑入 (生活保護法第63条による返還金)			23
	一般財源	330,957				
財源内訳	担当課 福祉援護課			課長名	濱田 芳孝	内線番号 2101

令和8年度 主な事務事業調

No. 52

事業名	予防接種事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	366,253 千円			予算書	46	頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防するため、乳幼児・児童等に対する予防接種を全額公費負担により実施し、公衆衛生の向上に努める。また、高齢者に対しては、主に個人の感染予防のため、インフルエンザ及び新型コロナ、肺炎球菌、帯状疱疹予防接種を一部自己負担により実施する。																											
	いずれも、協力医療機関へ委託して実施 ◆妊婦・乳幼児・児童・生徒 166,870千円 <input type="radio"/> RSウイルス母子免疫ワクチン（妊娠28週0日～36週6日まで）1回 【新規】【No.53】 <input type="radio"/> 口タウイルス(生後2か月～14週6日まで) 2回又は3回 <input type="radio"/> B型肝炎(2か月～1歳未満) 3回 <input type="radio"/> 小児用肺炎球菌(2か月～5歳未満) 4回 <input type="radio"/> 五種混合1期(2か月～7歳6か月未満) 4回 <input type="radio"/> ヒブ(2か月～5歳未満) 4回 <input type="radio"/> 四種混合1期(2か月～7歳6か月未満) 4回 <input type="radio"/> B C G(5か月～1歳未満)1回 <input type="radio"/> 水痘(1歳～3歳未満) 2回 <input type="radio"/> 麻しん風しん1期(1歳～2歳未満)1回・2期(小学校入学前の1年間)1回 <input type="radio"/> 日本脳炎1期(3歳～7歳6か月未満)3回・2期(10歳～13歳未満)1回 ※積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種できなかった方に対する特例措置あり。 <input type="radio"/> 二種混合(満12歳) 1回 <input type="radio"/> 子宮頸がん(中学1年生～高校1年生の女子)2回又は3回																											
事業の内容	◆高齢者 199,383千円 <input type="radio"/> インフルエンザ(65歳以上) 【自己負担額(予定)】 標準用量 2,000円／高用量 3,400円 ※高用量は75歳以上に限り選択可 【拡大】 <input type="radio"/> 新型コロナ(65歳以上) 【自己負担額(予定)】 5,800円 <input type="radio"/> 肺炎球菌(65歳) 【自己負担額】 5,800円 <input type="radio"/> 帯状疱疹(65,70,75,80,85,90,95,100歳) 【自己負担額】 生ワクチン 4,200円／組換えワクチン10,800円 (1回あたり) ※いずれも非課税世帯等は自己負担金免除あり																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額 (千円)</th> <th>歳入名称 (補助率等)</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>3,000</td> <td>新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金 (10/10)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> <td>予防接種証明書手数料</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>363,249</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書	国支出金	3,000	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金 (10/10)	11	府支出金	-			地方債	-			その他	4	予防接種証明書手数料	10	一般財源	363,249	
区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書																									
国支出金	3,000	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金 (10/10)	11																									
府支出金	-																											
地方債	-																											
その他	4	予防接種証明書手数料	10																									
一般財源	363,249																											
担当課	健康づくり こども家庭しあわせ	課	課長名	松本 諭一 瀬野 勝久	内線 6351 番号 6200																							

令和8年度 主な事務事業調

No. 53

事業名	(再掲) 予防接種事業費 (うちRSウイルス母子免疫ワクチン接種分)					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	12,175 千円			予算書	46	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	RSウイルス感染症は、RSウイルス感染による急性の呼吸器感染症で、特に新生児・乳児は免疫機能が未熟であるために重症化することがある。令和8年4月の「RSウイルス母子免疫ワクチン」定期接種化に伴い、妊婦への接種により、胎児にその免疫を移行させることで、出生後の感染予防と発症・まん延防止を図る。					
	<p>【RSウイルス母子免疫ワクチン接種】</p> <p>《対象者》</p> <ul style="list-style-type: none"> 接種日において、妊娠28週0日から36週6日に至るまでの者 <p>《使用ワクチン》</p> <ul style="list-style-type: none"> 組換えRSウイルスワクチン（アブリスボ） <p>《接種方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠毎に1回0.5mlを筋肉内に接種 <p>《定期接種の開始》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年4月1日 <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力医療機関へ委託して実施 全額公費負担 <p>《接種人数》</p> <ul style="list-style-type: none"> 405人（見込み） 					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	12,175				
担当課 こども家庭しあわせ課			課長名	瀬野 勝久	内線番号	6200

令和8年度 主な事務事業調

No. 54

事業名	乳幼児健康診査事業費（うち5歳児健康診査事業費分）					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	1,887千円			予算書	46	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	乳幼児の疾病・障害の早期発見及び健康の保持・増進を目的として、現在、1か月児、3か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に健康診査を実施しているが、新たに5歳児健康診査を実施することにより、生まれてから小学校入学までの切れ目のない健診体制を整える。 5歳児頃は、基本的な生活習慣が確立し、社会性を身につける大切な時期であり、この時期に健康診査を実施することで、身体発達や精神発達、集団での様子などを確認し、就学に向けて必要な支援や準備につなげることで、安心して就学を迎えることを目指す。					
	【対象者】 満5歳になる幼児（年中児） 対象者見込み：500人					
事業の内容	【実施方法・健診内容】 <就園児> ①問診票回答（保護者・保育者） ②こども家庭センターにて問診、発達検査、保健指導 ③園医健診による診察 ④必要時、保育所・認定こども園・幼稚園への園巡回にて集団での遊びの様子観察 (①②③は全員。④は①②でスクリーニングした結果、集団行動観察必要児が対象) <未就園児・市外就園児> こども家庭センターにおける集団健診 (問診、計測・診察、発達検査、保健指導、集団での遊びの様子観察)					
	【フォローオン体制】 園支援、発達相談、幼児教室、療育、医療など					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	943	母子保健衛生費国庫補助金（1/2）			13
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	944				
担当課 こども家庭しあわせ課			課長名	瀬野 勝久	内線番号	6200

令和8年度 主な事務事業調

No. 55

事業名	妊婦のための支援給付事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	51,632 千円			予算書	46	頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	核家族化が進み、地域とのつながりも希薄となる中で、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期を通じて全ての妊婦・子育て家庭に寄り添い身近な相談に応じながら、多様なニーズに即した支援につなぐ「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施する。					
	【伴走型相談支援】 ①妊娠届出時、②妊娠7か月前後、③出生届出から生後4か月までの間のそれにおいて、保健師や助産師等による面談や地域の子育てひろばでの交流などの機会を活用し、一人ひとりのニーズに応じた支援につなげる。					
事業の内容	【経済的支援】 ○支給額等 ・妊婦支援給付金1回目(5万円)：妊娠届出時に申請受付後支給 ・妊婦支援給付金2回目(5万円)：出産予定日8週間前の日以降に申請受付後支給					
	○支給対象者数（見込み） ・令和8年4月1日から令和9年3月末の妊婦給付認定者：470名					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	49,361	妊婦のための支援給付交付金(10/10) 妊婦のための支援給付事業費補助金(1/2)(2/3)			13
	府支出金	1,089	妊婦のための支援給付事業費補助金(1/4)			17
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	1,182				
担当課 こども家庭しあわせ課			課長名	瀬野 勝久	内線番号	6200

令和8年度 主な事務事業調

No. 56

事業名	がん検診事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	98,054 千円			予算書	46 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、各種がん検診を実施することで、がんの早期発見の推進を図り、がんによる死亡率を減少させる。																																																			
	【実施するがん検診の内容】																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検診項目</th> <th rowspan="2">対象年齢</th> <th rowspan="2">予定受診数</th> <th rowspan="2">検診内容</th> <th colspan="2">受診場所</th> </tr> <tr> <th>医療機関</th> <th>保健センター等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">胃がん</td><td rowspan="2">50歳以上</td><td>700人</td><td>問診・胃X線検査</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>800人</td><td>問診・胃内視鏡検査</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>肺がん</td><td>40歳以上</td><td>3,500人</td><td>問診・胸部X線検査</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>大腸がん</td><td>40歳以上</td><td>6,300人</td><td>問診・便潜血検査</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr> <td>乳がん</td><td>40歳以上女性</td><td>2,800人</td><td>問診・マンモグラフィ検査</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>子宮頸がん</td><td>20歳以上女性</td><td>2,600人</td><td>問診・細胞診</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>前立腺がん</td><td>50、55、60、65、70歳男性</td><td>300人</td><td>問診・PSA検査※</td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table>					検診項目	対象年齢	予定受診数	検診内容	受診場所		医療機関	保健センター等	胃がん	50歳以上	700人	問診・胃X線検査		○	800人	問診・胃内視鏡検査	○		肺がん	40歳以上	3,500人	問診・胸部X線検査		○	大腸がん	40歳以上	6,300人	問診・便潜血検査	○	○	乳がん	40歳以上女性	2,800人	問診・マンモグラフィ検査	○		子宮頸がん	20歳以上女性	2,600人	問診・細胞診	○		前立腺がん	50、55、60、65、70歳男性	300人	問診・PSA検査※		○
検診項目	対象年齢	予定受診数	検診内容	受診場所																																																
				医療機関	保健センター等																																															
胃がん	50歳以上	700人	問診・胃X線検査		○																																															
		800人	問診・胃内視鏡検査	○																																																
肺がん	40歳以上	3,500人	問診・胸部X線検査		○																																															
大腸がん	40歳以上	6,300人	問診・便潜血検査	○	○																																															
乳がん	40歳以上女性	2,800人	問診・マンモグラフィ検査	○																																																
子宮頸がん	20歳以上女性	2,600人	問診・細胞診	○																																																
前立腺がん	50、55、60、65、70歳男性	300人	問診・PSA検査※		○																																															
※過剰診断や過剰治療の弊害を抑え、費用対効果も視野に入れた舞鶴市独自の前立腺がん検診システム																																																				
【受診率アップのための個別勧奨】 がん検診の受診率向上を図るため、ハガキやYouTube広告等により対象市民に受診勧奨を実施する。																																																				
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書																																															
	国支出金	2,596	感染症予防事業費等国庫補助金（1/2）		13																																															
	府支出金	121	市町村休日総合がん検診支援事業費補助金（10/10）		17																																															
	地方債	-																																																		
	その他	956	雑入（保健事業検診個人負担金）		23																																															
	一般財源	94,381																																																		
担当課 健康づくり 課			課長名	松本 諭一	内線番号 6351																																															

令和8年度 主な事務事業調

No. 57

事業名	健康づくり推進事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	2,338 千円		予算書	46 頁	事業区分 新規・拡大・ 継続

事業の目的	個人の健康づくりは、職場や地域コミュニティなど社会環境の影響を受けることから、「健康経営」に取り組む企業等を積極的に支援するとともに、市民の健康づくりを応援する企業・団体が、市と連携して主体的に健康づくり事業を展開する「まいづる健やかプロジェクト」の取組を拡充し、社会全体で市民の健康づくりを支援する環境整備を推進する。				
	1. まいづる健やかプロジェクトの活動推進 行政と民間企業・団体等が連携して舞鶴市民の健康づくりを支援する「まいづる健やかプロジェクト」を推進する。 ○SNS等を活用した健康づくりに関する啓発 ○市民向けウォーキングコンペの実施 ○プロジェクトメンバー研修会、交流会の実施 他 《参考》まいづる健やかプロジェクトメンバー数 80団体 (R8.1.31現在)				
事業の内容	2. 市内企業等の健康経営の促進 事業所が従業員の健康づくりに取り組むことを支援する。 ○職場対抗のウォーキングコンペ事業の開催 ○食生活改善に向けた栄養管理アプリを使った食のモニタリング事業の実施 他				
財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	500	衛生費寄付金		21
	一般財源	1,838			
担当課 健康づくり 課			課長名 松本 諭一	内線番号 6351	

令和8年度 主な事務事業調

No. 58

事業名	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	13,744 千円			予算書	47 頁 事業区分 新規・拡大・ 継続

事業の目的	保健師や歯科衛生士、管理栄養士等の専門職が地域に出向き、健康相談や訪問指導を行うことで、フレイル（加齢による心身の衰弱）の予防や慢性疾患の重症化防止を図る。これにより、高齢者の健康寿命の延伸とQOL（生活の質）の向上を実現し、住み慣れた地域で自分らしく生き生きとした生活が継続できるよう、きめ細やかな支援を推進する。				
	京都府後期高齢者医療広域連合からの委託事業として実施				
事業の内容	<p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 通いの場における健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ○対象：各地域で実施している「サロンdeすとれっち」実施団体等（約100か所） ○内容：フレイル予防に関する健康講座 フレイルチェック (簡易質問票、身体測定、口腔機能、低栄養リスクの確認) 専門職による個別健康相談 高齢者に対する個別の支援 <ul style="list-style-type: none"> ○健康状態不明者への対応：通いの場への不参加者や健診未受診者等に対し、訪問指導等を通じて生活状況や心身の健康状態を確認する。 ○生活習慣病重症化予防：生活習慣病ハイリスク者や必要な治療を受けていない未受診・中断者に対し、医療機関への受診勧奨や保健指導を行う。 				
財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	13,744	雑入（高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業委託料（広域連合））		23
	一般財源	-			
担当課	健康づくり 高齢者支援	課	課長名	松本 諭一 半林 美恵	内線 6351 番号 2140

令和8年度 主な事務事業調

No. 59

事業名	がん患者アピアランスケア支援事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	1,160 千円		予算書	47 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	がん治療に伴う脱毛や乳房の切除といった外見（アピアランス）の変化による患者の心理的及び経済的負担を軽減することにより、患者の療養生活の質（QOL）の維持・向上を図るとともに、就労継続を含む円滑な社会参加を促進し、治療と仕事・生活の両立を支援する。																											
	がん治療に伴う外見変化（脱毛・乳房切除等）による心理的・経済的負担軽減のため、アピアランスケア用品の購入費用の一部を助成する。																											
事業の内容	<p>【対象者】 がん治療を受けた、または現に受けている方</p> <p>【助成内容】 助成率：対象商品の購入費用の1/2 助成回数：各区分それぞれ1人1回限り 助成区分と上限額 (1) ウィッグ等（医療用ウィッグ、毛付き帽子等） 30,000円 (2) 乳房補正具 • 人工乳房（切除した乳房を補うもの） 30,000円 • 補整下着、パッド等 10,000円</p> <p>【その他】 3年間の时限措置</p>																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>10</td> <td>がん患者アピアランスケア支援事業補助金</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,150</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	-			府支出金	10	がん患者アピアランスケア支援事業補助金	17	地方債	-			その他	-			一般財源	1,150	
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																									
国支出金	-																											
府支出金	10	がん患者アピアランスケア支援事業補助金	17																									
地方債	-																											
その他	-																											
一般財源	1,150																											
担当課 健康づくり 課		課長名 松本 諭一	内線番号 6351																									

令和8年度 主な事務事業調

No. 60

事業名	若年がん患者在宅療養支援事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	1,004 千円		予算書	47	頁

事業の目的	介護保険の対象外年齢である若年がん患者のうち、終末期を迎える在宅療養を希望する者に対し、在宅療養に必要なサービス提供と費用の一部助成を行い、患者及び家族の経済的負担を軽減するとともに、住み慣れた自宅で安心して自分らしく生活できるよう支援する。																											
	介護保険の対象外年齢のがん末期患者に対し、在宅療養に必要なサービスの費用の一部を助成する。																											
事業の内容	<p>【対象者】 18歳以上40歳未満のがん末期患者</p> <p>【助成内容】 助成率：対象サービス利用料の9/10 助成区分と上限額： (1)在宅サービス(訪問介護・訪問入浴) 及び福祉用具貸与 月額72,000円 (2)福祉用具購入 (腰掛便座、入浴補助用具等) 年額90,000円</p> <p>【その他】 3年間の時限措置</p>																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額 (千円)</th> <th>歳入名称 (補助率等)</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>477</td> <td>若年がん患者在宅療養支援事業補助金 (1/2)</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>527</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書	国支出金	-			府支出金	477	若年がん患者在宅療養支援事業補助金 (1/2)	17	地方債	-			その他	-			一般財源	527	
区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書																									
国支出金	-																											
府支出金	477	若年がん患者在宅療養支援事業補助金 (1/2)	17																									
地方債	-																											
その他	-																											
一般財源	527																											
担当課 健康づくり 課 課長名 松本 諭一					内線番号 6351																							

令和8年度 主な事務事業調

No. 61

事業名	施設整備事業費（斎場）				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目
事業費	262,475 千円			予算書	47 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	建設後37年が経過した斎場は、火葬炉等の老朽化が激しいことから、市民生活に不可欠な施設の安定的な利用のため、令和6年度から火葬炉設備等更新工事に着手している。 施設の使用を継続しながら施工するため、工期は3年間となっており、令和8年度の完成を目指す。
	<p>○令和8年度工事 火葬炉4基更新 火葬炉5基のうち4基を新たに更新し、残りの1基と胞衣炉1基は、現在の使用頻度と将来の活用見込みの想定に基づき除却する。</p> <p>[参考] ※令和7年度実施 電気設備、地下タンク、モニター設備更新</p> <p>[参考 債務負担行為] 期間 令和6年度～令和8年度 限度額 355,000千円</p> <p>※待合ホールの空調設備の改修等も実施</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	262,400	保健衛生債	23
	その他	-		
	一般財源	75		
担当課	市民課	課長名	大谷 美香	内線番号 1120

令和8年度 主な事務事業調

No. 62

事業名	衣類のリユース促進事業費					
費目	款	衛生費	項	清掃費	目	清掃総務費
事業費	1, 073 千円			予算書	47	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	製造や焼却処理に伴う温室効果ガス排出量が多い衣類の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するため、現在、可燃ごみとして焼却処分を余儀なくされている衣類のリユース・リサイクルルートを確保し、拠点回収を行うことで、環境負荷の低減や市民の環境意識向上を図る。
事業の内容	<p>公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不要となった衣類の拠点回収を行い、回収した衣類を再生事業者へ引渡しリユース・リサイクルを行う。</p> <p>また、市民同士でまだ使えるものをゆずり合うリユースの仕組みの充実について検討する。</p> <p>【設置場所】 市公共施設（清掃事務所の他、数カ所程度を選定予定）</p> <p>【対象品目】 家庭で不要となった衣類（まだ使える状態のもの）</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金（1/2）	17
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	573		
	担当課	生活環境 課	課長名 有田 昌史	内線番号 1295

令和8年度 主な事務事業調

No. 63

事業名	不燃ごみ収集事業費（うち不燃ごみ対策経費分）				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 塵芥処理費
事業費	1,500 千円			予算書	48 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	ごみの分別方法や出し方のルールなどの情報をスマートフォン等で手軽に確認できる「ごみ分別アプリ」を導入することにより、ごみに関する情報へのアクセスを向上させるとともに、分かりやすい説明が可能になることで、デジタル社会や外国人等との共生社会に対応し、市民のごみ排出に関する理解促進と適正排出を推進する。	
	○ごみ分別アプリ導入・使用料 【主な機能】 ごみの分別、出し方、収集日カレンダー、収集日通知機能、分別辞典、お知らせメール機能、多言語機能など	400千円【新規】
事業の内容	○ごみ収集用資材等購入費用 不燃ごみステーション用のネットなど	1,100千円【継続】
※ 「ごみ分別ルールブック」の印刷製本・全戸配布については、分別ルール等の見直しがあった際にのみ行うよう変更。このため、令和8年度（令和9年3月）は印刷製本・全戸配布は実施しない。		

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,500		
担当課		生活環境	課長名	有田 昌史 内線番号 1295

令和8年度 主な事務事業調

No. 64

事業名	リサイクルプラザ施設長寿命化事業費				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 リサイクル事務所管理費
事業費	12,444 千円		予算書	49	頁
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	施設の供用開始から27年が経過し、施設全体の老朽化が著しいため、施設の大規模改修や省エネ対応機器への更新を行うことで長寿命化を図り、安定した廃棄物の適正処理を継続する。
	<p>長寿命化工事発注支援業務及び施工監理業務委託（令和8年度）</p> <p>発注支援業務：令和7年度に策定した詳細設計を用いて工事発注のための仕様書、入札用設計書を作成する。</p> <p>施工監理業務：設計図書をもとに発注条件を満たす工事内容であることの照査・施工監理を行う。</p>
事業の内容	<p>【全体スケジュール】</p> <p>令和6年度 : 長寿命化計画策定</p> <p>令和7年度 : 長寿命化工事実施設計</p> <p>令和8～12年度 : 長寿命化工事</p> <p>【参考 債務負担行為】</p> <p>期間 : 令和8年度～令和12年度</p> <p>限度額 : 1,976,000千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,242	循環型社会形成推進交付金(1/3)	13
	府支出金	-		
	地方債	9,200	清掃債	23
	その他	-		
	一般財源	2		
担当課 環境施設 課		課長名	清水 良孝 志摩 貴士 (リサイクル事務所長)	外線番号 63-1614 64-7222

令和8年度 主な事務事業調

No. 65

事業名	医療従事者確保対策事業費（うち看護人材確保分）				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	480 千円			予算書 事業区分	50 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	市内の公的4病院による連携のもと、地域が一体となった看護師確保対策を推進する。 併せて、看護職を目指す学生等が、インターンシップ等の就業支援に積極的に参加できる環境づくりと実効性のある支援を通じて市内就業への意欲を高めることで、将来の看護人材の確保と定着を図る。																										
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公的4病院が連携した「舞鶴ナースインターンシップ」の開催 公的4病院を一挙に巡る行程でインターンシッププログラムを実施。 病院ごとに異なる特長的な機能や役割、現場の雰囲気等に触れながら看護業務を体験することにより、自身に最適な環境を見極め、市内への就職・就業へつなげる。 <p>(主催：舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院、市立舞鶴市民病院)</p>																										
事業の内容	<p>※ 「舞鶴市看護師確保対策支援事業費補助金」</p> <p>看護学生や潜在看護師等を対象に、舞鶴ナースインターンシップ等の参加に必要な経費の一部を補助することにより、参加者の経済的な負担軽減を図るとともに、遠方からも積極的に参加しやすい環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●補助対象経費： インターンシップ等の参加に必要な交通費、宿泊費等 ●補 助 率 : 4分の3以内 ●補助上限額 : 3万円／人・年額 ●想 定 人 数 : 16名（見込） 																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>480</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	-			府支出金	-			地方債	-			その他	-			一般財源	480	
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																								
国支出金	-																										
府支出金	-																										
地方債	-																										
その他	-																										
一般財源	480																										
担当課 地域医療 課			課長名 高嶋 宏行	内線番号 2468																							

令和8年度 主な事務事業調

No. 66

事業名	医療機能最適化検討事業費					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	32,000 千円			予算書	50	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>令和7年9月の「舞鶴市医療機能最適化検討会議」において、「公的4病院を東地区に1つ、西地区に1つに再編・統合を目指すべきとの方針決定」を踏まえ、各病院本部との直接協議を開始した。令和8年度は、この協議を継続し、さらには京都府や京都府立医科大学等の関係機関との調整を図る中で、運営主体や開設場所、医療機能等の基本事項について関係者間での合意形成を目指す。</p> <p>また、合意後においては、今後の整備・運営等について、市と運営主体の役割分担等の検討を進める。</p>																												
	<p>病院本部等との協議を通じて、再編の枠組みを固めるとともに、合意後の円滑な事業進展を見据え、外部機関による客観的・専門的な分析・支援を活用し、以下の取組を進める。</p> <p>1. 基本事項の合意形成に向けた協議・調整 25,000千円 外部機関による客観的な経営シミュレーションや、大学・京都府等との調整を通じ、各病院本部との協議を深め、運営主体、開設場所、医療機能等の根幹に関する事項について、関係者間での合意形成を図る。</p> <p>2. 円滑な運営移行に向けた実務調整 5,000千円 合意後に進める運営主体による基本構想等の作成に際し、今後の行政支援の妥当性や事業の実現性、医療継続性を検証する。 併せて、整備・運営における市と運営主体の役割分担等の検討を進める。</p> <p>3. その他 2,000千円 広報や説明会等を通じて検討経過等の周知を図り、病院再編に対する市民理解の促進に努める。</p>																												
事業の内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>16,000</td> <td>きょうと地域連携交付金（1/2）</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>16,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	-			府支出金	16,000	きょうと地域連携交付金（1/2）	17	地方債	-			その他	-			一般財源	16,000		
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																										
国支出金	-																												
府支出金	16,000	きょうと地域連携交付金（1/2）	17																										
地方債	-																												
その他	-																												
一般財源	16,000																												
担当課	地域医療	課	課長名	高嶋 宏行	内線番号 2468																								

令和8年度 主な事務事業調

No. 67

事業名	舞鶴市休日急病診療所管理運営経費					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	18,059 千円			予算書	50	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴市が開設・運営する休日急病診療所において、日曜日の一次救急（内科系の病状で比較的軽い方への応急的対応）を担うことにより、救急輪番を受け持つ市内公的3病院（※1）の救急医療に関する勤務医等の負担軽減を図るとともに、休日の急病患者の診療体制を維持し、安全・安心に暮らすことができる救急体制を確保する。								
	※公的3病院・・・舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院								
事業の内容	<p>■ 舞鶴市休日急病診療所（舞鶴市字行永2260-2、舞鶴医療センター敷地内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療日：毎週日曜日（年間52日） ・診療時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時 ・診療科：内科 ・診療内容：病状の比較的軽い方に対する応急的な診療 ・診療体制：医師、薬剤師、看護師 ・患者数見込：年間約950名 								
	<p>【予算内訳】</p> <table> <tbody> <tr> <td>①直接雇用人件費（看護師、医療事務）</td> <td>3,217千円</td> </tr> <tr> <td>②専門職委託費（医師、薬剤師）</td> <td>8,402千円</td> </tr> <tr> <td>③診療用材料費・医薬品費</td> <td>2,000千円</td> </tr> <tr> <td>④その他施設維持管理経費等</td> <td>4,440千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 舞鶴医師会、舞鶴薬剤師会等の協力により診療体制を整備。 ※ 二次救急（入院や手術が必要な重症者に対応）が必要と判断される場合は、輪番の公的3病院と連携して対応。</p>		①直接雇用人件費（看護師、医療事務）	3,217千円	②専門職委託費（医師、薬剤師）	8,402千円	③診療用材料費・医薬品費	2,000千円	④その他施設維持管理経費等
①直接雇用人件費（看護師、医療事務）	3,217千円								
②専門職委託費（医師、薬剤師）	8,402千円								
③診療用材料費・医薬品費	2,000千円								
④その他施設維持管理経費等	4,440千円								

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
府支出金	-			
地方債	-			
その他	9,309	休日急病診療所診療収入、診断書交付手数料	9・10	
一般財源	8,750			
担当課	地域医療	課	課長名 高嶋 宏行	内線番号 2468

令和8年度 主な事務事業調

No. 68

事業名	誰もが働きやすい職場づくり推進事業費					
費目	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費
事業費	3,500 千円			予算書	50 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	人口減少社会において、人材確保が多く企業の課題となる中、性別や年齢、国籍、キャリア等の異なる多様な人材が、会社に愛着を持ち、自分の成長を実感しながらいきいきと安心して働く環境づくりを支援することで、働く人のワークライフバランスと企業の価値向上を目指す。	
事業の内容	○誰もが働きやすい職場づくり推進業務委託 ・課題解決に向けた「伴走支援型」個別相談会等の開催	400千円
	○誰もが働きやすい職場づくり推進補助金 ・多様な人材を受け入れるための就業規則の変更（制度整備）や、求職者等への情報発信の費用の一部を補助 ・女性用トイレ・更衣室の新設や休憩室の改修など、誰もが働きやすい職場環境整備にかかる工事費等の一部を補助	3,000千円
	○その他 ・会場使用料、広報物印刷費用等	100千円
※3年間の時限措置事業（R7新規、2年目）		

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	1,750	地域未来交付金（1/2）	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,750		
担当課		産業活力	課 課長名	山内 勇輔 内線番号 1215

令和8年度 主な事務事業調

No. 69

事業名	雇用対策協議会事業費補助金					
費目	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費
事業費	4,552 千円			予算書	50 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>「舞鶴市雇用対策協議会」を中心に、関係機関等と連携した各種事業を展開することにより、若者等の地元での就職促進、地域が求める人材の確保、市内事業者の採用力向上を実現し、地域産業の維持発展と雇用の安定化を目指す。</p>					
事業の内容	<p>「舞鶴市雇用対策協議会(※)」を中心に以下の事業等を実施する。 ※舞鶴公共職業安定所、京都府、舞鶴商工会議所、市内教育機関等が参画する協議会</p> <p>【舞鶴市雇用対策協議会実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面式での合同就職説明会 ・多様な人材の活躍を推進する就職説明会やオンライン企業説明会 ・高校生を対象とした地元企業研究会「高校生 J O B – E X P O」 ・市内事業所での就職に関する情報を発信するホームページ「ジョブナビまいづる」、S N S 等の運営 ・市内事業所の人材獲得力向上を支援するセミナーなど 					
財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	4,552				
担当課	産業活力	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1215

令和8年度 主な事務事業調

No. 70

事業名	農業公園施設整備事業費				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	20,000 千円		予算書	51 頁	
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	農業公園開設20年を契機に、海側広場に大浦地域の豊かな緑と田畠、海、冠島が望めるビュースポットデッキとベンチを新設するとともに、交流いちご園（ガラス温室）にアクアポニックスを導入する。				
事業の内容	<p>○事業内容 農業と自然への親しみや学びを育む「さらなる体験価値」 を提供する施設として整備 • ビュースポットデッキ設計設置委託 • 府内産木材製ベンチ等製作 • アクアポニックス栽培ユニット導入（魚と共生する循環型農業）</p>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	7,000	'食の京都TABLE' 整備支援事業費補助金(1/3) 豊かな森を育てる府民税市町村交付金(定額)		17
	地方債	13,000	辺地債		24
	その他	-			
一般財源		-			
担当課 農林 課		課長名 濱田 鉄也	内線番号 1240		

令和8年度 主な事務事業調

No. 71

事業名	舞鶴の農産物普及事業費				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	2,758 千円		予算書	51 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴で生産される農産物のプロモーションや生産者と消費者の結びつきを強化する取組を推進し、農産物の消費拡大と高付加価値化、農業所得の向上を図る。 また、新たに一般社団法人おにぎり協会に加入し、メディア向けPRイベントへの参加や民間企業との連携を進め、万願寺甘とうを始めとした本市の農水産物の魅力を全国へ発信する。																											
	 1. 舞鶴の農産物PR事業 2,598千円 ○万願寺甘とう 生産者及びJA、中丹3市が連携した京阪神・中京・首都圏の消費者及び流通関係者へのPR ○佐波賀だいこん 京都市内飲食店及び小売店へのPR ○舞鶴茶 パンフレットの作成、品評会結果を活用したPR ○その他の产品 あぐりブランドのシール及びパンフレットによるPR ○(一社) おにぎり協会を活用したメディアや民間企業へのPR【拡大】 700千円 ※「おにぎり協会」とは、おにぎりとそれにまつわる地域食材をPRする団体。14自治体・27企業が加入しており、農林水産省のおにぎりプロジェクトとも連携。																											
事業の内容	 2. 農産物食育推進事業 160千円 生産者が「きょうと食いく先生」として市内学校で食育授業を行う際に必要な資材等の購入費																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(千円)</th> <th>歳入名称(補助率等)</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,500</td> <td>ふるさと応援寄附金</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>258</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	国支出金	-			府支出金	-			地方債	-			その他	2,500	ふるさと応援寄附金	20	一般財源	258	
区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																									
国支出金	-																											
府支出金	-																											
地方債	-																											
その他	2,500	ふるさと応援寄附金	20																									
一般財源	258																											
担当課	農林課	課長名	濱田 鉄也	内線番号	1240																							

令和8年度 主な事務事業調

No. 72

事業名	学校給食への舞鶴産農産物活用の取組				
費目	款	農林水産業費 教育費	項	農業費 小学校費 中学校費	目 農業振興費 学校管理費
事業費	5,750 千円			予算書	51・67・68 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	ふるさと舞鶴への誇りと愛着を育む食育を推進するため、令和8年2月に生産者、市、教育委員会、卸売市場開設者で構成する「学校給食地場産野菜活用推進協議会」を設立し、地場産野菜の活用を進めている。 地場産物の供給における課題となっている「収穫期の集中」や「規格の不揃い」に対応するため、保管機能の強化と一次加工体制を整備し、学校給食への安定的な供給体制を構築する。	
	1. 給食用地場産野菜等備蓄強化事業費 3,750千円 • 給食用地場産野菜保管のための保冷室冷蔵ユニット整備補助 • 対象者：卸売市場開設者 • 補助率：3／4	

事業の内容	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	4,750	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（定額） 地域未来交付金（1/2）	13・14
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,000	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	-		
担当課	農林 学校教育	課	課長名 濱田 鉄也 日下部 亘	内線 1240 番号 2430

令和8年度 主な事務事業調

No. 73

事業名	スマート農業の推進 (うち万願寺甘とう栽培におけるセンサー活用支援分)				
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目 農業振興費
事業費	1,771 千円			予算書	52 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	令和元年度から、KDDI(株)、府、生産者、JA京都にのくにと連携し、センサーを活用した調査研究を進め、万願寺甘とうの生産量が増加する環境と尻腐れ病が発生する要件のデータが集積化できた。 この成果を活用し、農業所得の向上を図るため、新規就農者のスタートアップ支援と一般農家のセンサー導入支援を行う。				
	1. スマート農業支援事業費 476千円 栽培環境データが共有できるセンサーを貸与 認定新規就農者 1戸×1台 模範となる農家 2戸×1台 (新規就農者へのサポート支援)				
事業の内容	2. 野菜等生産振興事業費 1,295千円 一般農家のセンサー導入を支援 予定台数：10台 対象：250千円以上の機器購入費 補助率：1／2 (府45%・市5%)				
	※万願寺甘とうの栽培に適した環境 気温：日平均で23～27°C 地温：日平均で22～26°C 日照：日積算で7.1～10.6MJ/m ²				
	※尻腐れ病の発生および抑制要件 1週間前の地温が26°C以上、気温が28°C以上で発生増加の可能性。 日照量が17,700ルクス（晴天時の窓際の室内相当）以上で抑制できる可能性。				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	238	地域未来交付金(1/2)		
	府支出金	1,165	京野菜等生産加速化事業費補助金(4.5/10)		
	地方債	-			
	その他	200	ふるさと応援寄附金		
一般財源 168					
担当課 農林 課			課長名 濱田 鉄也	内線番号	1240

令和8年度 主な事務事業調

No. 74

事業名	高温対応作物生産チャレンジ事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	1, 200 千円			予算書	52	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	令和7年度に発生した記録的な渇水被害を踏まえ、市内農業者から要望のある米の「節水型乾田直播（かんでんちょくは）（※）」を新たに支援対象に加え、舞鶴市の農業の未来を見据えた課題解決に取り組む。 （※）節水型乾田直播とは、田植えをせず、乾いた田に直接種をまき、水と労力を抑える農法					
	○高温対応作物生産チャレンジ補助金 農業者から試験栽培の提案を募集し、府・市・農業委員会・JA等による審査により支援を決定する。 栽培過程を記録し、他の生産者に広く共有することを条件とする。					
事業の内容	対象者：高温に対応する作物の試験栽培および米の節水型乾田直播にチャレンジする農業者 補助率等：面積あたりの必要経費相当である300千円（定額）を補助 ①米の節水型乾田直播…30a以上 2件【拡大】 ②その他の農作物…10a以上 2件 (令和7年度実績：薬草、山椒、観賞用枝物)					
	※当該補助金は3年間の時限措置（2年目） 令和9年度から国が「水田活用交付金」の改正により節水型乾田直播を支援する見込みのため、令和8年度のみ対象を拡大するもの。					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	600	ふるさと応援寄附金			20
	一般財源	600				
担当課 農林 課			課長名 濱田 鉄也	内線番号 1240		

令和8年度 主な事務事業調

No. 75

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	86,158 千円			予算書	53	頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	有害鳥獣の捕獲に対する支援、担い手の育成、処理施設の円滑な運用等による捕獲活動と、鳥獣侵入経路の調査等により防除活動を推進し、農作物被害の低減を図る。 また、集落内放置果樹の伐採支援など「クマを寄せ付けない地域づくり」を進める。					
	1. 猟友会及び捕獲従事者育成支援事業		1,246千円			
	・獵友会の有害鳥獣捕獲活動に係るハンター保険・自動車保険の支援					
	・狩猟者の担い手確保対策経費（狩猟登録及び猟銃等購入経費の支援）					
	2. 捕獲事業・捕獲活動事業		80,517千円			
	・有害鳥獣捕獲に対する出動・捕獲報償費（70,946千円）					
	※森林保護のため、狩猟期のシカ捕獲報償費に森林環境譲与税を4,000千円活用（No.76参照）					
	・有害鳥獣駆除期間中の連絡調整や捕獲確認に係る経費（9,571千円）					
	3. サル被害防止対策		1,300千円			
事業の内容	・地域と連携した捕獲、追払い用花火支給（クマにも使用可）					
	による地域支援経費					
	4. 有害鳥獣被害防止対策協議会負担金		145千円			
	5. 中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫管理経費		1,261千円			
	6. 鳥獣撃退用具購入に対する支援		90千円			
	7. 地域が行う捕獲・防除活動への支援		1,219千円			
	・鳥獣侵入経路等調査支援経費（739千円）					
	・捕獲通報装置購入事業費補助金（150千円）					
	・集落内放置果樹対策事業（330千円）					
財源内訳	8. クマ対策事業【拡大】		380千円			
	・緊急銃猟のための報償費、保険料、資材購入費					

区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
国支出金	-		
府支出金	27,696	野生鳥獣被害総合対策事業費補助金（1/2、定額）	18
地方債	-		
その他	-		
一般財源	58,462		
担当課	農林課	課長名	内線番号
		濱田 鉄也	1240

令和8年度 主な事務事業調

No. 76

事業名	森林経営管理推進経費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	33,700 千円		予算書	53 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	森林経営管理制度により林業施業地集積に取り組む地域において、集約化の前提となる境界明確化作業や意向調査を実施するとともに、意向確認が完了した地域においては林業施行の方法を定めた「集積計画」を策定し、森林整備につながる環境を整えることで、地球温暖化対策や水源涵養などの森林の多面的機能の維持・森林資源の活用の推進を図る。																	
	<ul style="list-style-type: none"> ①航空レーザ計測の成果を活用し境界明確化作業を実施。 ②境界明確化が完了した森林の所有者に対する意向調査を実施。 ③意向調査結果を基にした集積計画の策定。 (岡田由里地区、丸田西地区、女布地区を予定) 																	
事業の内容	※森林整備や木材利用促進などのために国から譲与される森林環境譲与税（財源区分は一般財源）を財源として実施（歳入予算は予算書5頁を参照）																	
	<p>【参考】森林環境譲与税</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金</td> <td style="width: 40%;">57,200千円</td> </tr> <tr> <td>同基金利子</td> <td>5,996千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>71千円</td> </tr> </table> <p>活用先内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">森林経営管理推進経費</td> <td style="width: 40%;">33,700千円（当該分）</td> </tr> <tr> <td>モデル皆伐再造林事業費</td> <td>2,375千円</td> </tr> <tr> <td>山から地域を元気にする事業費</td> <td>13,192千円（No.77）</td> </tr> <tr> <td>新たな林業施業地開拓事業費補助金</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>有害鳥獣被害防止対策事業費（シカ捕獲報償費）</td> <td>4,000千円（No.75の内数）</td> </tr> </table>		豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金	57,200千円	同基金利子	5,996千円		71千円	森林経営管理推進経費	33,700千円（当該分）	モデル皆伐再造林事業費	2,375千円	山から地域を元気にする事業費	13,192千円（No.77）	新たな林業施業地開拓事業費補助金	10,000千円	有害鳥獣被害防止対策事業費（シカ捕獲報償費）	4,000千円（No.75の内数）
豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金	57,200千円																	
同基金利子	5,996千円																	
	71千円																	
森林経営管理推進経費	33,700千円（当該分）																	
モデル皆伐再造林事業費	2,375千円																	
山から地域を元気にする事業費	13,192千円（No.77）																	
新たな林業施業地開拓事業費補助金	10,000千円																	
有害鳥獣被害防止対策事業費（シカ捕獲報償費）	4,000千円（No.75の内数）																	

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
府支出金		-		
地方債		-		
その他	6,067	豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金及び基金利子		20・21
一般財源	27,633			
担当課	農林	課	課長名 濱田 鉄也	内線番号 1240

令和8年度 主な事務事業調

No. 77

事業名	山から地域を元氣にする事業費				
費目	款	農林水産業	項	林業費	目 林業振興費
事業費	13,192 千円		予算書	53 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	里山保全活動に取り組む地域や団体を積極的に支援し、地域課題である放置竹林の減少や里山林の整備促進をはじめ、良好な景観の保全や、獣害・自然災害のリスク低減を図るとともに、新たな活動の裾野を広げることで、地域コミュニティの活性化を図る。																								
	また、里山保全活動に取り組む地域・団体間での人材・情報の交流を活性化し、里山整備活動を継続できるネットワークの形成を目指す。 ※森林環境譲与税活用事業																								
事業の内容	<p>1. 補助事業：13,000千円</p> <p>(1) 補助対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ①里山整備・保全等の活動に年3回以上取り組む地域や団体 ②上記の活動に係る補助対象経費が100千円を超える場合 <p>(2) 補助率：定額（上限500千円）</p> <p>(3) 対象となる経費</p> <p>機械購入・修繕費、消耗品費、保険料、資機材レンタル費、活動に従事した者に対する日当、伐採等に係る委託費、林産物の特產品化に係る研究・開発費、里山整備に資する地域イベント開催費用など</p> <p>2. 活動団体のネットワークづくり：192千円</p> <p>里山整備に関する意見交換会を実施し、活動団体がノウハウや人材を共有できるネットワークを広げる。</p> <p>※当該補助金は3年間の時限措置（3年目）</p>																								
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>13,192</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	-			府支出金	-			地方債	-			その他	-			一般財源	13,192		
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																						
国支出金	-																								
府支出金	-																								
地方債	-																								
その他	-																								
一般財源	13,192																								
担当課	農林課	課長名	濱田 鉄也	内線番号	1240																				

令和8年度 主な事務事業調

No. 78

事業名	災害に強い森づくり事業費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	46,000 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	令和5年8月の台風7号豪雨により人家裏斜面で山腹崩壊が発生した箇所において、今後の被害を防止するため治山施設を整備する。					
事業の内容	<p>京都府の委託事業により、治山施設を設置し荒廃した森林の整備を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所（1箇所）桑飼上（小原）地区 <ul style="list-style-type: none"> 山腹工 1式 森林整備 1式 <p>・全体計画 総事業費 110,569千円 令和6年度 測量設計、工事（山腹工） 1式 34,569千円 令和7年度 工事（山腹工） 1式 30,000千円 令和8年度 工事（山腹工、森林整備） 1式 46,000千円 ※事業完了予定</p>					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	46,000	災害に強い森づくり事業委託金			20
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課 農林水産基盤整備 課			課長名	岡野 恭憲		内線番号 1210

令和8年度 主な事務事業調

No. 79

事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設整備事業費負担金					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	8,930 千円			予算書	53	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	平成27年から中丹3市で共同運営している「中丹地域有害鳥獣処理施設」は、稼働開始から10年以上経過するため、同施設の長寿命化工事等を実施し、舞鶴市内で捕獲された有害鳥獣の安定的な処理体制を確保する。					
事業の内容	1. 舞鶴市負担額：8,930千円 ※総事業費：約33,000千円（見込）が各市からの搬入個体の重量により費用按分 2. 主な整備内容 <input type="radio"/> ○焼却炉改修工事 <input type="radio"/> ○処理施設屋根修繕					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	8,900	林業債			23
	その他	-				
	一般財源	30				
担当課 農林 課			課長名 濱田 鉄也	内線番号 1240		

令和8年度 主な事務事業調

No. 80

事業名	海業活性化に向けたファミリーフィッシング実証事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	370 千円			予算書	55	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	水産庁の「海業（うみぎょう）（※）」の推進に取り組む地区に指定されている、西大浦漁港に隣接する舞鶴親海公園を愛好家や家族・親子など、誰もが快適に釣りができる「フィッシングの聖地」として、リニューアルするための実証実験に取り組むもの。	
	（※）海業とは、漁村の地域資源を活用し、観光や交流などを通じて賑わいを創出することにより、地域の所得向上と雇用拡大につなげる取組	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ファミリーフィッシングのニーズ調査 舞鶴親海公園において、釣り教室やアンケートを実施し活用方針を検証 ○京都府海業推進協議会への参画 京都府海業推進協議会が実施主体となり、舞鶴親海公園における海業取組に係る活用推進計画の策定を目指す。 <p>※京都府海業推進協議会 「海業」を推進するため、令和7年5月に京都府・沿海市町・京都府漁業協同組合で設立</p>	

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	370		
担当課		水産	課長名	真下 了代 内線番号 1201

令和8年度 主な事務事業調

No. 81

事業名	クロマグロPR事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	2,000 千円			予算書	55	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	京都府産天然小型クロマグロ「都（みやこ）まぐろ」を「丹後とり貝」や「舞鶴かに」などに並ぶ、消費者や観光客を惹きつける魚としてブランド化し、需要喚起を行うことで、本市水産業の振興を図る。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「都まぐろ」のPR 生産者、流通加工業者、飲食業者、京都府等行政機関と連携したPR事業を展開 <ul style="list-style-type: none"> ・都まぐろ試食会の開催 ・都まぐろフェアの実施 ○ 「都まぐろ」商材の開発 ふるさと納税の返礼品を目指し、冷凍品や試作メニューを開発 					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	1,000	地域未来交付金（1/2）			13
財源内訳	府支出金	-				
	地方債	-				
財源内訳	その他	1,000	ふるさと応援寄附金			20
	一般財源	-				
担当課 水産 課			課長名 真下 了代	内線番号 1201		

令和8年度 主な事務事業調

No. 82

事業名	漁業体质強化支援事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	11,447 千円			予算書	55	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴湾地区の漁業振興を図るため生産の安定化や低コスト化など、漁業体质の強化につながる取組を促進する。					
事業の内容	<p>○支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した養殖生産を実現するための取組 ※貝毒・高水温等の影響を受ける生産者への支援を強化 (二枚貝養殖資材費 8,500千円) ・貝毒性食中毒防止の取組 (貝毒検査 1,125千円) ・二枚貝養殖の品質確保の取組 (身入り検査 200千円) ・磯根資源の増殖を目指す取組 (種苗放流 1,050千円) ・舞鶴のさかなの価値の向上を目指す取組 (ブランド魚のPR 140千円) ・低コスト化を推進する施設の導入などの取組 (市場電子入札運営 432千円) 					
	<p>○補助対象者 京都府漁業協同組合</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	11,447	漁業振興基金繰入金			21
	一般財源	-				
担当課		水産	課	課長名	真下 了代	内線番号 1201

令和8年度 主な事務事業調

No. 83

事業名	舞鶴漁港の機能強化を図る取組				
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目 水産業振興費 漁港管理費
事業費	25,200 千円			予算書	55 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴漁港の強靭化（岸壁の耐震、耐津波）を行うとともに、荷捌き所の改良等により、水産物の受入から出荷まで、一貫した衛生管理体制を構築し、災害リスクへの対応力向上と流通機能の強化を図る。				
事業の内容	<p>1. 事業内容及び予算額</p> <p>①共同利用施設設置事業費補助金 19,200千円 (舞鶴漁港高度衛生管理対策に係る実施設計)</p> <p>②舞鶴漁港整備事業費負担金 6,000千円 (舞鶴漁港強靭化に係る実施設計)</p>				
	<p>2. 全体事業計画</p> <p>期間：令和8年度～17年度</p> <p>内容：①舞鶴漁港高度衛生管理対策（荷捌き所の改良等）</p> <p>総事業費：約13億円</p> <p>事業主体：京都府漁業協同組合</p> <p>市負担割合：10%</p> <p>②舞鶴漁港強靭化（岸壁の耐震、耐津波）</p> <p>総事業費：約36億円</p> <p>事業主体：京都府</p> <p>市負担割合：20%</p>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-			
	府支出金	16,200	沿岸漁業構造改善対策事業費補助金(54/100)		
	地方債	9,000	水産業債		
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課	水産農林水産基盤整備	課	課長名	真下岡野恭憲	内線番号 1201 1210

令和8年度 主な事務事業調

No. 84

事業名	漁港施設長寿命化事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	84,000 千円			予算書	55	頁

事業の目的	老朽化によって更新等が必要な市管理漁港施設を対象に、計画的な修繕等を行うことで、施設の長寿命化を図り、今後必要となる更新コストの縮減や平準化を図る。					
	<p>○漁港施設長寿命化事業 漂砂等による砂の堆積により漁船等船舶の停泊や操船に必要な水深が確保されていない漁港施設（泊地）の保全を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜宮浜漁港（三浜地区） 令和8年度 長寿命化工事（防砂突堤整備等） <p>※全体計画（令和4～9年度） 令和4年度 測量設計 令和5～9年度 長寿命化工事（防砂突堤整備、泊地浚渫）</p> <p>全体事業費（予定）：377,150千円</p>					
事業の内容	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
財源内訳	府支出金	53,333	水産物供給基盤機能保全事業費補助金（2/3）			18
	地方債	26,400	水産業債			23
	その他	4,200	漁港施設長寿命化事業費分担金			7
	一般財源	67				
	担当課 農林水産基盤整備 課			課長名	岡野 恭憲	内線番号 1210

令和8年度 主な事務事業調

No. 85

事業名	観光消費拡大集客イベント補助金					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工総務費
事業費	10,000 千円			予算書	56	頁

事業区分
新規・拡大・継続

事業の目的	交流人口の増加を地域経済の活性化に深く結びつけるため、市内外から人を惹きつける集客規模の大きなイベントの開催を支援し、舞鶴市内での宿泊や飲食の機会を増大させることで観光消費の拡大を図る。
	補助対象：市民及び市内事業者が主催する集客規模1万人以上のイベント 補助率：事業費の1/10以内（上限1千万円）
事業の内容	<p>【参考】集客規模が大きいと想定されるイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MAIZURU PLAYBACK FES. ・ まいづる細川幽斎田辺城まつり ・ みなと舞鶴ちゃった花火大会 ・ まいづる魚まつり など <p>※当該補助金は3年間の時限措置</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	5,000	地域未来交付金（1/2）	13
府支出金		-		
地方債		-		
その他		-		
一般財源		5,000		

担当課	観光振興	課	課長名	竹原 良治	内線番号	1260
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和8年度 主な事務事業調

No. 86

事業名	観光振興ビジョン策定事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	7,000 千円			予算書 事業区分	56 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴市が誇る歴史、文化、そして豊かな自然を最大限に活かし、「観光消費の拡大」を最大の目標として、舞鶴市の新しい未来を力強く切り拓くため、今後の観光施策の指針となる「観光振興ビジョン」を策定する。																																	
	<p>「観光振興ビジョン」策定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標期間 <ul style="list-style-type: none"> ・令和9年度～13年度の5年間 ○策定内容 <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの開発、効果的なプロモーションの実施、インバウンド誘客等の方向性を明記 ○策定スケジュール（予定） <ul style="list-style-type: none"> ・6月～8月 現状分析、観光客・市民・事業者アンケート調査 ・9月～10月 関係団体ヒアリング、ワークショップ開催 ・11月～12月 パブリックコメントの実施 ・3月 ビジョンの公表 																																	
事業の内容																																		
	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th colspan="2">歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> <tr> <td>国支出金</td> <td>3,500</td> <td colspan="2">地域一体となった持続可能な観光地経営推進事業費補助金 (1/2)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,500</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </table>					区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書	国支出金	3,500	地域一体となった持続可能な観光地経営推進事業費補助金 (1/2)		13	府支出金	-				地方債	-				その他	-				一般財源	3,500		
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書																														
国支出金	3,500	地域一体となった持続可能な観光地経営推進事業費補助金 (1/2)		13																														
府支出金	-																																	
地方債	-																																	
その他	-																																	
一般財源	3,500																																	
担当課 観光振興 課			課長名 竹原 良治	内線番号 1260																														

令和8年度 主な事務事業調

No. 87

事業名	舞鶴ブランドプロモーション事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	13,740 千円		予算書	56	頁
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴市が誇る「海軍ゆかりのまち」と「城下町」からなる歴史・文化ストーリーや豊かな自然に育まれた食の魅力などを、多様なメディアを活用して情報発信するとともに、旅行事業者等へ直接プロモーションすることにより、国内外からの誘客を図り、観光入込客数の増加、観光消費額の増大につなげる。				
	<p>○舞鶴ブランドプロモーション事業費 (主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴口ヶ作品活用プロモーション事業【拡大】 5,000千円 舞鶴口ヶ作品配給会社と連動した公式WEB上での情報発信、 スタンプラリーなど ・各種イベントへの出展やメディア向け情報発信事業 1,500千円 ・訪日外国人観光客向けインバウンド推進事業【拡大】 3,000千円 商談会参加や旅行社訪問による誘致活動及び来訪外国人動向調査 ・地域消費拡大事業 2,000千円 市内周遊や宿泊促進による地域消費拡大事業の実施 など 				
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	4,000	地域未来交付金(1/2)		13
財源内訳	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	9,740			
	担当課	観光振興	課長名	竹原 良治	内線番号 1260

令和8年度 主な事務事業調

No. 88

事業名	細川幽斎ゆかりの魅力発信事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目
事業費	2,240 千円			予算書 事業区分	56 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機として、豊臣秀吉公に重用された文武両道の武将・細川幽斎公への関心も高まる中、細川幽斎公にまつわる史実を通して舞鶴市の魅力を広く発信することで、認知度向上と交流人口の拡大を図る。				
	○細川幽斎ゆかりの魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・城下町ゆかりの周遊ルートの構築・発信 ・歴史学者やインフルエンサーによるトークイベントの開催 ・SNS等を活用した情報発信 <p>など</p>			
事業の内容					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	1,120	地域未来交付金（1/2）	13	
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	1,120			
担当課	観光振興	課	課長名 竹原 良治	内線番号 1260	

令和8年度 主な事務事業調

No. 89

事業名	朗読劇連動観光誘客プロモーション事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	3,019 千円			予算書	56 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	令和8年9月に東京国際フォーラムにおいて、引揚をテーマとした朗読劇公演が開催されることにより、「引き揚げ」や「舞鶴」への関心がより高まるなか、朗読劇と連動した情報発信及び引揚記念館シャトルバスの運行等、おもてなし事業の実施により、「引揚の史実」と舞鶴市の認知向上、観光誘客の増加を図る。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○朗読劇公演（首都圏）と連動した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・公演会場での舞鶴PR（引揚の史実や舞鶴の紹介展示） ・SNS等での情報発信 ○舞鶴市内でのおもてなし事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・引揚記念館シャトルバスの運行（8月、10月） ・引揚朗読劇の関連スポットを巡るフォトキャンペーンの実施 					
事業の内容						
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	1,322	地域未来交付金（1/2）			13
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	1,600	ふるさと応援寄附金			20
	一般財源	97				
担当課 観光振興 課			課長名	竹原 良治		内線番号 1260

令和8年度 主な事務事業調

No. 90

事業名	みなとオアシス活用事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目
事業費	2,251 千円			予算書	56 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>みなと周辺を核とした賑わいをさらに広げるため、大野辺緑地などの「みなとオアシス」登録エリアにおいて、地域・民間・行政等が一体となり「京都舞鶴ベイサイドフェスタ」の開催など、舞鶴の港ならではの魅力を発信する取組を展開するとともに、エリア内施設等を含めたエリア全体の活性化について調査研究、意見・ニーズの把握等を行い、エリア周辺環境の充実に取り組む。</p> <p>【みなとオアシス】 地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくり促進のため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設（海浜・旅客ターミナル・広場など）として、国土交通省港湾局長が認定する交流拠点</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 官民で構成する「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら運営協議会」の開催及び同協議会による「みなと」を核としたまちづくりに向けた検討 みなとオアシス登録施設を活用した賑わい創出に向けたイベント開催 2,000千円 「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」を周知するための広報活動等 251千円 				
事業の内容	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)		予算書
	国支出金	-			
財源内訳	府支出金	1,000	きょうと地域連携交付金 (1/2)		18
	地方債	-			
	その他	200	雑入 (日本海にぎわい・交流海道ネットワーク活動支援費)		23
	一般財源	1,051			
	担当課 みなと振興・国際交流 課	課長名	中山 隆司	内線番号	1250

令和8年度 主な事務事業調

No. 91

事業名	京都舞鶴港クルーズ推進事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	22,508 千円			予算書	56 頁 事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	関西経済圏における日本海側のゲートウェイである「港まちの強み」を生かし、地域特性に応じた多様なクルーズ寄港の促進と、インバウンド観光などによる地域への経済効果の波及、さらには、市民との交流機会の創出など、多様な観点から好循環を生み出していく。				
	◆クルーズ誘致プロモーション事業 5,008千円 ・国内、海外船社等への直接アプローチ ・クルーズ寄港港としてのPR活動 ・ターミナル内でのおもてなし活動を通じた市民との交流の機会の創出				
事業の内容	◆寄港受入対応 16,500千円 ・観光案内をはじめとした地域経済への波及効果の拡大 ・シャトルバスの配車など、観光客の満足度向上に向けた取組				
	◆日本海における他港との連携 1,000千円 ・クルーズ関係者の視察受入など、日本海側クルーズ受入港と連携した誘致活動				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	8,000	地域未来交付金(1/2)		
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	14,508			
担当課 みなと振興・国際交流課			課長名	中山 隆司	内線番号 1250

令和8年度 主な事務事業調

No. 92

事業名	未来へつなぐ基盤整備事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	28,515 千円			予算書	56	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	令和6年3月末をもって利用を停止した「東地区中心市街地複合施設（旧マイコム）」について、老朽化による周辺住民への安全リスクを解消するとともに「東地区まちなかエリア」の活性化に向けた基盤整備事業を実施する。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東地区中心市街地複合施設の除却設計 9,661千円 ○ 近隣家屋調査 18,854千円 					
事業の内容						
	<p>※除却工事については最大2ヶ年を想定</p>					

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
府支出金	-			
地方債	28,500	商工債		23
その他	-			
一般財源	15			
担当課	産業活力	課	課長名	山内 勇輔 内線番号 1215

令和8年度 主な事務事業調

No. 93

事業名	ローカルベンチャー創生事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費		29,800 千円		予算書	56 頁	事業区分 新規・拡大・継続

事業の目的	「舞鶴なら挑戦できる」と誰もが実感できる環境を整備することで、舞鶴市での起業・創業機運の醸成を促進するとともに、地方での挑戦を一貫して支援し、新たな産業の創出による地域経済の活性化を図る。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップ支援のノウハウを持つ民間事業者等と連携し、起業・創業にむけた様々な取り組みを実施。 19,800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・事業軌道化までの伴走支援 ・事業者とのマッチング支援 ・創業機運醸成イベント等の開催 など ○創業支援補助制度の創設 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・成長産業分野や地域課題解決などに新規で取り組む事業者への補助 	
事業の内容		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	14,900	地域未来交付金(1/2)	13
府支出金		-		
地方債		-		
その他	6,500	ふるさと応援寄附金		20
一般財源	8,400			

担当課	産業活力	課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1215
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和8年度 主な事務事業調

No. 94

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	109,559 千円			予算書	56	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	地域経済の活性化を図るため、誘致企業の円滑な立地と新規誘致に取り組むとともに、市内立地企業の施設・設備等の新增設などを積極的に支援する。 また、新たな産業用地の確保などの産業立地政策に取り組む。	
事業の内容	①働く場の創出企業立地促進補助 企業立地補助金 2件 働く場の創出補助金 4件	81,300千円
	②企業立地経営円滑化補助 大口水道使用企業に対する水道料金の一部補助 4件	22,600千円
	③企業誘致推進対策事業 新たな企業誘致推進のための情報収集、個別企業訪問等	1,919千円
	④未来へつなぐ企業誘致実現事業【新規】 新たな産業用地確保に向けた可能性調査	3,740千円

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	109,559		
担当課		産業活力	課長名 山内 勇輔 渋沢 元気 (企業誘致担当課長)	内線 1215 番号 1216

令和8年度 主な事務事業調

No. 95

事業名	まいづる産品生産強化等支援事業費				
費目	款	商工費	項	商工費	目 商工振興費
事業費	10,060 千円			予算書	56 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	市内事業者による「まいづる産品」の生産強化に必要な設備投資等に対し、ふるさと納税型のクラウドファンディングを行い、集まった寄附金を原資として費用の一部を助成することで、ふるさと納税の寄附受入額の拡大と地域経済の活性化を図る。 ※クラウドファンディングによる寄附受入目標額：25,000千円	
	1. 事業者の設備投資等に対する助成：10,000千円 クラウドファンディングにより受け入れた寄附金を原資として、寄附受入額の4/10（上限額10,000千円）を助成する。 ※令和8年度から上限額を2,000千円から10,000千円に引き上げ【拡大】	
事業の内容	2. 助成対象者の選定に係る経費：60千円 対象者は、「舞鶴市公募型補助金等交付対象者選定委員会」による審査を経て決定する。	
	<p>《事業の流れ（予定）》</p> <pre> graph TD subgraph "舞鶴市" 1[①事業プロジェクト募集] --> 2[②応募] 2 --> 3[④審査結果の通知] 3 --> 4[⑤助成金の交付] 4 --> 5[⑧事業着手、完了] end subgraph "市内事業者" 3 4 5 end subgraph "寄附者" 5 6[⑥寄附 (ふるさと納税)] 7[⑦返礼実行] 8[⑨住民税控除] end subgraph "寄附者の居住自治体" 8 end 1 --> 2 2 --> 3 3 --> 4 4 --> 5 5 --> 6 6 --> 7 7 --> 8 </pre>	

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	10,060	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	-		
担当課	ふるさと応援課	課長名	砂田 敏昌	内線番号 1220

令和8年度 主な事務事業調

No. 96

事業名	国際交流活動推進費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	25,763 千円			予算書	57	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	国際理解の促進や、次世代の国際人材の育成を目指すため、姉妹・友好都市及び友好交流を進める各都市と、みなど・観光・文化・スポーツ・教育・産業・人材など幅広い分野における交流事業に取り組む。					
事業の内容	<p>【主要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央アジア訪問・関係構築事業 【新規】 4,000千円 ・ポーツマス市訪問青少年英語研修事業 7,210千円 ・大連市少年使節団受入事業 2,460千円 ・舞鶴市青少年交流訪問団浦項市派遣事業 2,900千円 ・各種代表団受入・派遣・交流事業 3,389千円 ・ウズベキスタン人国際交流員の任用 4,320千円 ・国際交流活動年次報告書の作成 200千円 <p>など</p>					
財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
一般財源		25,763				
担当課 みなと振興・国際交流 課			課長名	中山 隆司	内線番号	1250

令和8年度 主な事務事業調

No. 97

事業名	ウズベキスタン人材育成支援事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	1, 656 千円			予算書	5 7	頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	ウズベキスタン共和国リシタン地区との間で交わした人材育成交流に関する覚書に基づき、今後同国の発展に必要とされる産業技術や介護福祉等の分野において、市内関係機関の協力を得ながらウズベキスタンの人材育成や舞鶴市内での就労を支援する。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業人材育成支援 1,356千円 対象者：京都職業能力開発短期大学校入校者 支援内容：①来日渡航費及び入学支度金 上限15万円を支給 ②生活費 令和7年度までの入校生 上限1.5万円／月を支給 令和8年度以降の入校生 家賃を同居人数で割った額（上限2.5万円／月）を支給 ・介護人材育成支援 300千円 対象者：特定技能（介護）で来日する市内介護福祉施設就労者 支援内容：来日渡航費及び就職支度金 上限15万円を支給

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
府支出金		-		
地方債		-		
その他		-		
一般財源		1,656		

担当課	みなど振興・国際交流 福祉企画	課	課長名	中山 隆司 瀬野 薫	内線番号	1250 2290
-----	--------------------	---	-----	---------------	------	--------------

令和8年度 主な事務事業調

No. 98

事業名	京都舞鶴港振興事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	78,683 千円			予算書	57	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	国、京都府により整備が進む京都舞鶴港の港湾機能を最大限発揮できるよう、関西経済圏におけるB C P（事業継続計画）やリダンダンシーとしての重要性を積極的にPRし、特に荷主企業等からニーズの高い中国直行コンテナ航路の誘致に取り組むとともに、既存航路の活性化、集貨対策、東アジア諸国等との経済交流による創貨活動など、総合的な貿易振興策を展開する。また、舞鶴小樽間を運航する国内フェリーにおいては、新造船2隻体制（けやき・はまなす）を迎えるにあたり、2隻リニューアル運航による乗船機運を相乗効果的に高めるため、様々な企画や客層をターゲティングしたPRを行う事で、同航路の利用拡大を図る。			
	京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、航路の活性化や集貨対策等を積極的に推進する。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催や展示会出展等のPR活動 ・コンテナ定期航路利用促進等のポートセールス ・コンテナ貨物等に対するインセンティブ補助 ・航路の拡充およびトライアル利用の促進 ・貿易情報の収集及び調査 ・東アジア諸国等との友好・経済交流の促進 ・舞鶴小樽フェリー航路支援事業 	77,183千円		
	・中国直行コンテナ航路再開に向けたプロモーション【新規】 1,500千円			
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	78,683		
担当課 みなと振興・国際交流 課		課長名 中山 隆司	内線番号 1250	

令和8年度 主な事務事業調

No. 99

事業名	地籍調査事業費					
費目	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費
事業費	33,642 千円			予算書	58	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	個々の土地の境界や面積など地籍を明確にすることにより、土地の流動性を高めるほか、災害時の復旧作業に備えるなど、市民の資産を守るとともにその価値を高める。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常地籍調査 <ul style="list-style-type: none"> ・浜V地区 0.06km² (新規) 街区境界調査、街区境界測量、街区面積測定、 街区境界調査簿作成等 ・折原地区 0.04km² (継続) 一筆地調査、一筆地測量、地籍図原図作成等 ○ リモートセンシングによる地籍調査 ※ 京都府委託業務 <ul style="list-style-type: none"> ・上東地区 0.23km² 現地調査、地籍図原図作成等 ○ 国土調査法19条5項指定による地籍整備 <ul style="list-style-type: none"> ・北吸地区 0.34ha 用地測量、19条5項指定申請図書作成 					
事業の内容	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書
	国支出金	4,851	地籍整備推進調査費補助金 (10/10)			13
	府支出金	20,768	国土調査費補助金 (3/4) 地籍調査業務委託金 (10/10)			18・20
	地方債	-				
	その他	1	地籍調査証明手数料			10
	一般財源	8,022				
担当課	建設総務	課	課長名	村尾 正	内線番号	2330

令和8年度 主な事務事業調

No. 100

事業名	道路除雪対策事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路維持費
事業費	72,084 千円			予算書	59	頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	「舞鶴市道路除雪計画」に基づき、バス路線や幹線道路等の除雪及び凍結防止剤の散布を実施し、冬季における安全で円滑な交通の確保を図る。					
事業の内容	<p>【対象地域】 市内全域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○除雪作業 <ul style="list-style-type: none"> ・大型除雪機によるバス路線を中心とした幹線市道等の除雪業務委託 ・小型除雪機の配備による生活道路の除雪作業支援 ○凍結防止剤散布 <ul style="list-style-type: none"> ・凍結防止剤散布機による凍結防止業務委託 ○除雪機更新 <ul style="list-style-type: none"> ・小型除雪機 6台（トラクター式3台、ロータリー式3台） 					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	11,543	社会資本整備総合交付金(2/3) 除雪作業事務委託金			13・14
	府支出金	-				
	地方債	25,100	道路橋りょう債、辺地債			23・24
	その他	593	雑入(除雪機賃料)			23
	一般財源	34,848				
担当課		土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 101

事業名	土木インフラDX推進経費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路維持費
事業費	31,800 千円			予算書	59	頁

事業の目的	<p>土木技術職の不足やインフラの老朽化とそれに伴う管理費の増加など、舞鶴市が抱える土木インフラに関する『ヒト・モノ・カネ』の様々な課題に対して、DXと包括的民間委託の手法を用いて課題解決を目指す。</p> <p>また、「データ駆動型維持管理（※）」を実現するために、最新の予測技術の導入、インフラ管理情報の蓄積、民間事業者と双方向の活用を行うことで、より効率的で高度な維持管理を実現する。</p> <p>※ 「データ駆動型維持管理」とはデータに基づいた客観的な判断によって、意思決定や行動を行う維持管理上のアプローチのこと。</p>					
	<p>[土木インフラ包括的民間委託導入可能性調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆資産・業務の状況把握、従来からの管理方法の整理と課題抽出 ◆データ駆動型維持管理手法の導入検討、事業スキーム（案）作成 ◆市内業者へのサウンディング調査 ◆包括委託導入による効果検証 					
事業の内容						
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	20,000	先導的官民連携支援事業補助金（定額）			13
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	11,800				
担当課	土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号	2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 102

事業名	交通安全推進事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	321,660 千円			予算書	59 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	こども、高齢者などの交通弱者や自転車が、安全で安心に通行できる道路整備を進め、快適で安全・安心なまちづくりを推進する。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道整備や交差点改良等、通学路等の交通安全対策を推進 [対象路線] <ul style="list-style-type: none"> ・丸山通線（丸山口町） 歩道設置 計画総延長 60m うち令和8年度実施分 40m ・宮下谷口線ほか1線（公文名ほか） 歩道設置 計画総延長 630m うち令和8年度実施分 用地補償 水路設置 50m 公文名交番新築 ・浜白鳥線（森三本木） 歩道設置 計画総延長 250m うち令和8年度実施分 70m ・八島通線（森）ほか 歩道整備 公安委員会が行う横断歩道設置に伴う歩道改築 				
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		
	国支出金	143,852	社会資本整備総合交付金（5.5/10） 交通安全対策補助金（5.5/10）		
	府支出金	-			
	地方債	130,600	道路橋りょう債		
	その他	47,200	都市開発推進基金繰入金		
	一般財源	8			
担当課 土木 課			課長名 尾橋 英憲	内線番号	2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 103

事業名	幹線道路整備事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	176,500 千円			予算書	59 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	国道や府道を補完する幹線市道の整備を進め、本市の経済の活性化及び交通の円滑化と安全性の向上を図る。				
	<p>[対象路線]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉通線（森本町） 拡幅改良 計画総延長350m うち令和8年度実施分 350m ※令和8年度に供用開始予定（南工区） 事業認可期間H25～ 全体事業費25億円 ・引土境谷線（伊佐津、境谷） 拡幅改良 計画総延長670m うち令和8年度実施分 用地補償 				
事業の内容					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	87,000	社会資本整備総合交付金（1/2、5.5/10）		13
	府支出金	-			
	地方債	81,000	道路橋りょう債		23
	その他	3,500	都市開発推進基金繰入金		21
	一般財源	5,000			
担当課	土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 104

事業名	高潮対策事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
事業費	34,000 千円			予算書	59	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	高潮対策に特化したポンプの整備や道路嵩上げなどのハード整備により浸水被害を軽減するとともに、高潮発生時には通行規制を実施することで道路交通の安全を図る。					
事業の内容	<p>[対象地域]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜地区 高潮対策ポンプ設置 1箇所 ・巣島通線 高潮対策ポンプ設置 1箇所 ・竜宮通線 道路嵩上工事 L=100m ・浜地区他 道路冠水安全対策（交通誘導員配置） 					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	29,200	道路橋りょう債			23
	その他	4,000	都市開発推進基金繰入金			21
	一般財源	800				
担当課		土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 105

事業名	橋りょう長寿命化事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 橋りょう費
事業費	220,150 千円			予算書	60 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたり安全確保とトータルコストの縮減や平準化を図る。			
	○橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕等 (点検) 203橋（うち業者委託163橋、市直営40橋） (修繕) 浪速橋他7橋 (補修設計) 善寿寺2号橋他1橋			
事業の内容				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	113,300	道路メンテナンス事業補助金(5.5/10)	13
	府支出金	-		
	地方債	76,500	道路橋りょう債	23
	その他	2,000	都市開発推進基金繰入金	21
	一般財源	28,350		
担当課	土木	課	課長名 尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 106

事業名	河川整備事業費					
費目	款	土木費	項	河川費		目 河川総務費
事業費	37,300 千円			予算書	60	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	浸水被害を引き起こしている箇所の河川整備を行い、安全で災害に強いまちづくりを推進する。					
事業の内容	<p>[対象河川]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井川（上福井） 護岸改修 L=30m ・材木川（多門院） 河床改修 L=80m ・寺谷川（下東） 護岸改修 L=160m 他 					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	33,300	河川債			23
	その他	4,000	都市開発推進基金繰入金			21
	一般財源	-				
担当課		土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 107

事業名	「赤れんが」と「海・港」観光周遊路整備事業費				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	53,749 千円			予算書	61 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	主要な交通結節点である東舞鶴駅周辺から赤れんがパーク等への街路整備を実施し、観光客の通行の安全及び市内周遊の促進を図る。				
事業の内容	八雲北口線他道路整備工事 (八雲北口線～三笠通線～北吸桃山線)				
	<p>○整備計画 令和7年度：東舞鶴駅北口 緑地整備 令和8年度：歩道ストリートプリント 誘導サイン設置 令和9年度：街路灯改修</p> 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	26,550	地域未来交付金(1/2)		
	府支出金	-			
	地方債	27,100	都市計画債		
	その他	-			
	一般財源	99			
担当課		都市計画	課	課長名	上羽 讓司
					内線番号 2320

令和8年度 主な事務事業調

No. 108

事業名	都市公園整備事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	公園費
事業費	17,200 千円			予算書	62 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	市民の憩いの場である都市公園において、「舞鶴市公園施設長寿命化計画」に基づき施設の改築・更新を行うことにより、安全で安心な公園管理に務める。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「舞鶴市公園施設長寿命化計画」に基づく公園施設の改築・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・五老ヶ岳公園受電設備更新工事（上安地内） ・青葉山ろく公園受水槽ポンプ更新工事（岡安地内） 				
事業の内容					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	8,200	社会資本整備総合交付金（1/2）		13
	府支出金	-			
	地方債	9,000	都市計画債		23
	その他	-			
	一般財源	-			
担当課	土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 109

事業名	都市公園ストック再編事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	公園費
事業費	15,450 千円			予算書	63	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴市が管理する都市公園のうち、赤れんがパークを除く38箇所について、「舞鶴市緑の基本計画」と市民ニーズに基づき、公園ごとに整備方針を定め、計画的に改修を進める。これにより、公園の機能性と快適性を高め、市民の満足度向上と来園者数の増加を目指す。また、公園の再編や機能分担を通じて、都市公園全体のストック効果を高める。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や市民ニーズを参考に、各都市公園のテーマを明確化 ・利用状況やニーズに基づく整備方針の決定 ○基本構想策定に向けた「計画検討委員会」を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・有識者や市民代表等で構成予定 					
事業の内容						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	7,500	社会資本整備総合交付金(1/2)			13
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	7,950				
	担当課	土木	課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

令和8年度 主な事務事業調

No. 110

事業名	民間建築物耐震改修等推進事業費				
費目	款	土木費	項	住宅費	目 住宅管理費
事業費	10,346 千円		予算書	63	頁
			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	「舞鶴市建築物耐震改修促進計画」に基づき、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進するため、耐震診断士の派遣と耐震改修に係る費用の一部助成を行う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ○木造住宅耐震診断士派遣 780千円 (52千円×15件) 【事業概要】 木造住宅(昭和56年5月31日以前に建築)について、耐震診断士が耐震診断や改修に係る助言等を実施するもの。自己負担額 3,000円。 	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○木造住宅耐震改修助成 <ul style="list-style-type: none"> ・本格型 8,050千円 (1,150千円 × 7件) 【補助率】4/5 【限度額】 1,150千円 ・簡易型 1,200千円 (400千円 × 3件) 【補助率】4/5 【限度額】 400千円 ・耐震シェルター 300千円 (300千円 × 1件) 【補助率】3/4 【限度額】 300千円 	

財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	5,090	社会資本整備総合交付金 (1/2)	13
	府支出金	2,654	住宅耐震診断事業費補助金 (1/4) 木造住宅耐震改修等事業費補助金 (1/4、1/2)	19
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,602		
担当課	住宅	課	課長名 西村 和宏	内線番号 2370

令和8年度 主な事務事業調

No. 111

事業名	土砂災害等対策支援事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
事業費	4,089 千円			予算書	63	頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	土砂災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、土砂災害特別警戒区域等に建つ住宅の改修や、移転に伴う住宅の除却に要する費用について支援を行い、安全で安心なまちづくりを推進する。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○危険住宅等土砂災害対策改修支援事業補助金 1,089千円 (1,089千円×1件) 					
事業の内容	<p>【補助対象事業】 土砂災害特別警戒区域にある住宅について、土砂災害に対して安全な構造となるように行う外壁または扉の改修や設置に係る工事</p> <p>【補助金額等】 工事費の33% (限度額 1,089千円/件)</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> ○崖地近接等危険住宅移転事業費補助金 3,000千円 (3,000千円×1件) <p>【補助対象事業】 災害危険区域や土砂災害特別警戒区域等にある住宅を除却し、同区域以外の本市の区域に住宅を移転(建築、購入、又は賃借)する事業</p> <p>【補助金額等】 住宅の除却に要する経費 <木造 33千円/m²、非木造 47千円/m² > × 延べ床面積 (限度額 3,000千円/件)</p>					
財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書
	国支出金	1,983	社会資本整備総合交付金 (11.5%、1/2)			13
	府支出金	991	住宅等土砂災害対策改修支援事業費補助金(5.75%) 崖地近接等危険住宅移転事業費補助金 (1/4)			19
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	1,115				
担当課 住宅 課			課長名	西村 和宏	内線番号	2370

令和8年度 主な事務事業調

No. 112

事業名	公営住宅エアコン設置事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
事業費	5,100 千円			予算書	63	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	近年の気候変動に伴う熱中症等の深刻な健康被害リスクに対し、空調設備がない住戸にエアコン設置をすることで住宅セーフティネット機能の強化を図る。					
	○市営住宅へのエアコン設置 【新規】					
事業の内容	<p>対象：設置見込み数 51戸 入居募集を行う住宅 現在入居中で、エアコンが設置されていない住宅（希望者） ※用途廃止予定の住宅を除く</p> <p>その他：エアコン設置による利便性向上分について、住宅使用料に反映（住宅使用料の5%）</p>					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	5,100	住宅使用料			9
	一般財源	-				
担当課		住宅 課	課長名	西村 和宏		内線番号 2370

令和8年度 主な事務事業調

No. 113

事業名	公営住宅改善事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅建設費
事業費	114,071 千円			予算書	64	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	生活の礎である住宅のセーフティネットとして中心的な役割を果たす市営住宅について、持続可能な施設マネジメントを推進するため、「舞鶴市公営住宅等長寿命化計画」に基づき予防保全型の改修等を行い、適切なストックマネジメントを推進する。																												
	<p>○公営住宅改善事業 築年数の古い市営住宅について、今後も安全に居住できる環境を整備するため、外壁長寿命化工事等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福来団地外壁長寿命化改修工事(築23年) ・市場団地外壁長寿命化改修設計業務委託(築22年) ・市場団地エレベーター制御設備リニューアル工事 ・LED照明器具取替工事 (R8～R10) 																												
事業の内容																													
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(千円)</th> <th>歳入名称(補助率等)</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>38,213</td> <td>社会資本整備総合交付金(4.5/10)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>75,500</td> <td>住宅債</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>358</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	国支出金	38,213	社会資本整備総合交付金(4.5/10)	13	府支出金	-			地方債	75,500	住宅債	24	その他	-			一般財源	358		
区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																										
国支出金	38,213	社会資本整備総合交付金(4.5/10)	13																										
府支出金	-																												
地方債	75,500	住宅債	24																										
その他	-																												
一般財源	358																												
担当課	住宅課	課長名	西村 和宏	内線番号	2370																								

令和8年度 主な事務事業調

No. 114

事業名	消防施設整備事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	53,950 千円			予算書	65 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	災害対応能力の維持向上のため、配備後年月が経過し老朽化している救急自動車を更新するとともに、機動力の高い消防団の小型動力ポンプ搬送車を整備し、災害対応能力の充実強化を図る。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防ポンプ自動車等購入事業 <ul style="list-style-type: none"> ・救急自動車（東消防署） 1台 ○ 小型動力ポンプ機動力化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプ搬送車（非常備消防） 3台 …東大浦、西大浦、岡田上 					
	<p>※平成28年度から整備を進めてきた小型動力ポンプ機動力化事業は本年度で全34台の配備が完了する。</p> <p style="text-align: right;">ほか</p>					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	48,500	消防債			24
	その他	-				
	一般財源	5,450				
担当課 警防 課			課長名	城代 謙一		内線番号 9521

令和8年度 主な事務事業調

No. 115

事業名	ハザードマップ作成事業費				
費目	款	消防費	項	消防費	目 災害対策費
事業費	5,550 千円		予算書	65	頁
			事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>最新の被害想定に基づいた「高潮ハザードマップ」を新たに作成し、高潮による浸水リスクを正しく認識するとともに、被害軽減への備えを促すことで、市民の防災意識の向上と災害時における迅速かつ的確な避難行動につなげる。</p>				
	<p>○高潮ハザードマップ【新規】 京都府から新たに公表される高潮浸水想定区域に基づき、新規で作成する。</p>				
事業の内容					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	2,750	社会資本整備総合交付金(1/2)		13
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		2,800			
担当課 危機管理・防災 課			課長名 泉 光信	内線番号 2561	

令和8年度 主な事務事業調

No. 116

事業名	防災アプリ維持管理経費				
費目	款	消防費	項	消防費	目 災害対策費
事業費	14,401 千円			予算書	66 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	スマートフォンを通じ、市民一人ひとりへ防災情報を直接届ける「舞鶴防災アプリ」の機能強化と安定した運用維持を行うことで、防災情報の確実な伝達を図り、平時における防災知識の習得や備えを促進するとともに、災害時における状況把握を支援し、迅速かつ的確な避難行動につなげる。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな防災気象情報の運用開始に伴う改修【拡大】 7,810千円 「危険警報」の新設など、令和8年5月下旬から新たな防災気象情報の運用が開始されることに伴い、情報の受信に必要な改修を実施 ○気象観測機器のデータ取り込み 6,591千円 市管理河川に設置した水位計等の気象観測機器のデータ取り込みを行い、アプリ上で確認できるよう改修を実施 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	14,401			
担当課 危機管理・防災 課			課長名 泉 光信	内線番号 2561	

令和8年度 主な事務事業調

No. 117

事業名	不登校支援等推進経費				
費目	款	教育費	項	教育総務費	目 事務局費
事業費	44,364 千円			予算書	66 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>心理的要因など多様な背景により不登校の状態にある児童・生徒に対し、教育支援センター「明日葉（あしたば）」において、集団生活への適応指導や学習支援、生活習慣の改善に向けた相談・指導を行うとともに、学校やフリースクール等と連携し、学校復帰や一人ひとりに適した多様な学びの場の確保、社会的自立に向けた支援を推進する。</p> <p>また、児童・生徒からの悩みや困りごとを見逃さないため、電話やメール相談に加え、児童・生徒が所有する学習用タブレットから子ども本人が直接相談できるツール「まいづるこども相談」により、相談しやすく、また学校等が迅速にきめ細やかな対応を図るなど、いじめ・不登校事象の未然防止と早期発見・解決に努めることで、子どもたちを守る取組を推進する。</p>																									
	<p>1 教育支援センターの運営（場所：字浜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校やいじめに係る相談、学習指導、訪問指導 ・カウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリング ・チャレンジアウトドアライフ事業（不登校児童生徒を対象とした野外体験活動等の実施） <p>2 いじめ相談ダイヤル・メール・学習用タブレットを活用した「まいづるこども相談」等による相談受付及び体制の強化</p> <p>3 フリースクールを利用する児童・生徒の保護者の負担軽減補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：学校と連携するフリースクールに通う児童・生徒の保護者 ・補助経費：授業料等（補助上限 月12千円） <p>4 特別支援教育士スーパーバイザーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校を特別支援教育の観点から捉え、学校への指導・助言を行う 																									
事業の内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>500</td> <td>地域未来交付金（1/2）</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,000</td> <td>ふるさと応援寄附金</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>41,864</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	500	地域未来交付金（1/2）	13	府支出金	-			地方債	-			その他	2,000	ふるさと応援寄附金	20	一般財源	41,864		
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																							
国支出金	500	地域未来交付金（1/2）	13																							
府支出金	-																									
地方債	-																									
その他	2,000	ふるさと応援寄附金	20																							
一般財源	41,864																									
<p>担当課 学校教育 課 課長名 日下部 亘</p>		内線番号 2430																								

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	500	地域未来交付金（1/2）	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	2,000	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	41,864		
	担当課 学校教育 課 課長名 日下部 亘		内線番号 2430	

令和8年度 主な事務事業調

No. 118

事業名	学校規模適正化推進事業費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	1,350 千円			予算書	66 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	人口減少や少子化に伴う小・中学校の小規模化が進む中、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応し、将来に向けて魅力ある学校づくりを進めるため、令和7年10月に策定の「舞鶴市学校規模適正化ビジョン」に基づき、学校規模の適性化を推進する。					
事業の内容	<p>1. 「舞鶴市学校規模適正化ビジョン」に基づく取組の推進 舞鶴市学校規模適正化ビジョンにおいて「優先的に取り組む」と位置づけた小学校区（朝来、大浦、池内、高野、岡田、由良川）に対し、適正化の必要性について説明するとともに、子どもたちにとって望ましい教育環境等について意見交換を行う。</p> <p>2. 吉原小学校の明倫小学校への統合に向けた取組 令和9年4月1日の統合に向け、必要な取組を推進する。 • 安全な通学路の確保、通学手段の確保 • 充実した学校間の交流の実施 • 廃校施設の利活用に関する調査・検討 等</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	1,350				
担当課 教育未来 課			課長名	後 梢		内線番号 2481

令和8年度 主な事務事業調

No. 119

事業名	豊かな学びを支える学校づくり推進事業費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	480 千円			予算書	66 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	教員が多様な知見を持って挑む「子どもも教員も夢中になれる授業」を通じて、子どもたちの豊かな学びを実現し、舞鶴で学び、生きることへの誇りを育むことを目的に、教員を対象とした、「ふるさと舞鶴」の歴史や産業を深く再発見する研修に加え、民間企業等の成功事例や先端の知見に触れる研修を実施する。					
	<p>1 舞鶴の魅力を再発見する研修の実施 「ふるさと舞鶴」で活躍する地元企業や官公庁と連携した教員への校外研修の実施</p> <p>2 外部人材・機関による教員セミナーの実施 民間企業や研究機関等、多様な外部機関の成功事例や先端の知見に触れる機会の提供</p>					
事業の内容						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	240	子どもの教育のための総合交付金(1/2)			19
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	240				
担当課	学校教育	課	課長名	日下部 亘	内線番号	2430

令和8年度 主な事務事業調

No. 120

事業名	施設整備事業費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	54,691 千円			予算書	67・68	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	学校施設は次代を担う児童生徒の学習・生活の場であり、より良い教育活動を行うためには、施設の安全性・機能性の確保は不可欠であるため、安全・安心のための工事を計画的に実施することにより、教育環境の改善を図る。 また、地域が運行する自主運行バス「岡田中バス」が運行の見直しを予定していることに伴い、スクールバスの運行範囲を拡大し、児童生徒の通学手段の確保を図る。	
	 ○小学校 32,664千円 高圧受変電設備改修工事 (新舞鶴、岡田小学校) 給水ポンプ更新工事 (朝来小学校) トイレ洋式化設計業務委託 (新舞鶴、与保呂、大浦(体育館)、中筋、福井小学校(体育館)) スクールバス購入費 など	
事業の内容	○中学校 22,027千円 高圧受変電設備改修工事 (白糸中学校) 自動火災報知設備更新工事 (青葉中学校) トイレ洋式化設計業務委託 (和田、城南中学校(体育館)) など	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	39,100	小学校債、中学校債、辺地債	24
	その他	-		
	一般財源	15,591		
担当課 教育総務 課		課長名 南 史典	内線番号 2410	

令和8年度 主な事務事業調

No. 121

事業名	学校給食費無償化事業費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	408,285 千円			予算書	67・68 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	小・中学生を育てる保護者の学校給食費負担を軽減し、未来を担う子どもたちの健やかな成長を社会全体で支え、「子育てしやすいまち・安心して子育てできる環境」を実現するため、給食費の無償化を実施するもの。 既に通年で無償化を実施している中学校に続き、令和7年度3学期から無償化した小学校についても令和8年度より通年で実施し、小・中学校における「通年での完全無償化」を実現する。	
	 事業費内訳 【小学校】232,540千円 【中学校】175,745千円 ○学校給食の現物支給 393,379千円 【小学校】対象18校 事業費 見込人数：3,429人、単価：332円/食、見込日数：180日 【中学校】対象 7校 事業費 見込人数：1,936人、単価：403円/食、見込日数 197日	
事業の内容	 ○学校給食費相当額の給付 14,906千円 対象者 ①舞鶴市立小中学校に学籍があり、アレルギー等の事情により給食を喫食していない生徒 ②舞鶴市に住民登録があり、かつ、市内に居住している者で、舞鶴市立小中学校に学籍がない学齢期にある生徒 (府立特別支援学校、私立中学校在学生等) 事業費 見込人数 210人 (小学校：90人、中学校：120人) 1食当たりの単価及び見込日数については上記のとおり	
	 ※教職員（小学校：400人、中学校：200人）は無償化対象外 ※財源は、国府支出金やふるさと応援寄附金を活用するなど、複数財源により持続可能な運営体制を確保	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	11,341	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(定額)	14
	府支出金	196,138	給食費負担軽減交付金(10/10)	19
	地方債	-		
	その他	178,827	ふるさと応援基金繰入金、学校給食運営基金繰入金、雑入(教職員等学校給食費徴収金)	21・23
	一般財源	21,979		
担当課 学校教育 課		課長名	日下部 亘	内線番号 2430

令和8年度 主な事務事業調

No. 122

事業名	水泳指導委託事業費					
費目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
事業費	4,100 千円			予算書	67	頁
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴市の小学校プールは、建設から長い年月が経過し、施設の老朽化が進み安全管理面や、天候・気温に左右され安定した水泳授業の実施等に課題を抱えている。 令和7年度に実施した、「小学校プールのあり方検討事業」の結果を踏まえ、今後も安全・安心に水泳授業を実施していくため、現状のプールを可能な限り利用しながら、段階的に学校の水泳指導の民間委託を進める。																									
	プール施設は、利用開始から40年程度で長寿命化改修が必要となることや、プールの老朽化度合い、年間維持管理コスト及び一度に送迎できる児童の数等を勘案し、利用開始から40年程度のプールを持ち、児童が100人前後の小学校から以下の対象学校を選定。																									
事業の内容	【水泳指導の民間委託対象校】																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>児童数(R7.5.1)</th> <th>経過年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>与保呂小学校</td> <td>92人</td> <td>42年</td> </tr> <tr> <td>朝来小学校</td> <td>106人</td> <td>39年</td> </tr> <tr> <td>大浦小学校</td> <td>42人</td> <td>37年</td> </tr> <tr> <td>吉原小学校</td> <td>29人</td> <td>41年</td> </tr> <tr> <td>池内小学校</td> <td>47人</td> <td>46年</td> </tr> <tr> <td>福井小学校</td> <td>104人</td> <td>43年</td> </tr> </tbody> </table>						対象校	児童数(R7.5.1)	経過年数	与保呂小学校	92人	42年	朝来小学校	106人	39年	大浦小学校	42人	37年	吉原小学校	29人	41年	池内小学校	47人	46年	福井小学校	104人
対象校	児童数(R7.5.1)	経過年数																								
与保呂小学校	92人	42年																								
朝来小学校	106人	39年																								
大浦小学校	42人	37年																								
吉原小学校	29人	41年																								
池内小学校	47人	46年																								
福井小学校	104人	43年																								
財源内訳	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書																				
	国支出金	-																								
	府支出金	-																								
	地方債	-																								
	その他	-																								
	一般財源	4,100																								
担当課 教育総務 課			課長名	南 史典	内線番号	2410																				

令和8年度 主な事務事業調

No. 123

事業名	校舎等改修事業費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校建設費
事業費	92,360 千円			予算書	68・69 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	次代を担う児童生徒の学習・生活の場である学校施設の長寿命化を図るとともに、学校生活に必要な教育環境の整備を図る。	
事業の内容	○小学校 23,560千円 明倫小学校プロパン庫他改修工事	
	○中学校 68,800千円 城南中学校クラブ倉庫移転工事 体育館空調設備設置他設計業務委託 (若浦、加佐、青葉(第二体育館)、城南中学校(武道場)) 城北中学校トイレ改修設計業務委託	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	47,000	小学校債、中学校債	24
	その他	44,440	雑入(城南中学校クラブ倉庫移転補償金)	23
	一般財源	920		
担当課 教育総務		課	課長名 南 史典	内線番号 2410

令和8年度 主な事務事業調

No. 124

事業名	生徒主導型・学校生活向上プロジェクト事業費				
費目	款	教育費	項	中学校費	目
事業費	700 千円			予算書	68 頁
				事業区分	(新規・拡大・継続)

事業の目的	学校生活をより楽しく、豊かにするため、市立中学校の生徒自らが立案した企画に対して活動資金を支援する。 生徒自らが学校や地域の課題を発見し、解決策を企画・立案・実行するプロセスを通じて、「自ら考え行動する力（主体性）」を育むことを目的とする。				
	1 補助対象 市立中学校の生徒 2 補助金額 1校あたり上限額 10万円 3 補助要件 以下のいずれかの視点を持った企画であること ①学校生活をより良く、楽しくするための企画 ②地域をより良く、元気にするための企画 ※3年間の时限措置				
<hr/>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-			
	府支出金	350	子どもの教育のための総合交付金(1/2)		
	地方債	-			
	その他	-			
<hr/>					
担当課	学校教育	課	課長名	日下部 亘	内線番号 2430

令和8年度 主な事務事業調

No. 125

事業名	架け橋プログラム推進事業費					
費目	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼稚園費
事業費	9,695 千円			予算書	69 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴市における乳幼児教育と小学校教育をつなぐ架け橋期（幼稚園、認定こども園等の5歳児と小学校1年生の2年間）の教育の質の向上を図るために、架け橋プログラムを実施する。																											
事業の内容	乳幼児教育センターによる架け橋プログラムの取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「保幼こ小架け橋プログラム検討会議」を設置（年3回開催） <ul style="list-style-type: none"> ・委員：学識経験者、小中学校長会、園長会、PTA、民生児童委員等 ○ 架け橋プログラムを推進するための研修会を開催（年3回実施） <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園等の保育教諭と小学校教員が共に学ぶ研修を実施 ○ 架け橋活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児と1年生の架け橋活動の実施 ・コーディネーター等による指導や助言を行う。 ○ 公開保育を通した実践研究（年3回実施） <ul style="list-style-type: none"> ・大学教授の指導に基づく公開保育の実践 ・参加者：認定こども園等の保育教諭と小学校教員 ○ 架け橋カリキュラム、架け橋プログラム実践事例集の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル園校によるカリキュラムや実践事例集を作成 																											
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額（千円）</th> <th>歳入名称（補助率等）</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>4,847</td> <td>教育支援体制整備事業費交付金（1/2）</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,848</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書	国支出金	4,847	教育支援体制整備事業費交付金（1/2）	14	府支出金	-			地方債	-			その他	-			一般財源	4,848		
区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書																									
国支出金	4,847	教育支援体制整備事業費交付金（1/2）	14																									
府支出金	-																											
地方債	-																											
その他	-																											
一般財源	4,848																											
担当課	乳幼児教育推進 課	課長名	井上 正彦	内線番号 2471																								

令和8年度 主な事務事業調

No. 126

事業名	伝統的建造物群保存対策事業費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	4,066 千円			予算書 事業区分	70 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	令和2年度からの保存対策調査の結果を踏まえ、国の「重要伝統的建造物群保存地区」選定を視野に取り組みを進めてきた吉原地区において、専門家や住民との連携のもと、保存活用団体の支援や普及啓発、歴史的建造物の修理・修景等を実施し、歴史的町並みの継承と地域の活性化を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的建造物群保存対策事業 <ul style="list-style-type: none"> 「舞鶴市伝統的建造物群保存地区保存審議会」の開催 特定物件表示プレートの作成 伝統的建造物群保存地区解説板の設置 3D都市モデル作成調査業務 など ○スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和7年7月 「舞鶴市伝統的建造物群保存地区保存条例」制定 「舞鶴市伝統的建造物群保存地区保存審議会」設置 令和8年3月 吉原伝統的建造物群保存地区的都市計画決定告示（予定） 令和8年度 国への選定申出および重伝建選定を目指す

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	4,000	ふるさと応援寄附金、雑入（芸術文化振興基金助成金）	20・23
	一般財源	66		
担当課	文化振興課	課長名	横川 拓也 神村 和輝 (歴史文化まちづくり担当課長)	内線番号 1230

令和8年度 主な事務事業調

No. 127

事業名	こども・若者の居場所づくり支援事業費補助金					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
事業費	2,620 千円			予算書	70	頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	市内の民間団体やグループ等が実施する、こども・若者を対象とした居場所づくりや体験活動を実施する事業に加え、こども・若者が主体的に実施する事業について助成を行う。 こども・若者を育む多様な活動を公募・採択し、地域全体で居場所づくり支援の気運醸成を図る。	
	1. 交流・体験活動支援事業 2,100千円 こども・若者に対し、多様な交流または体験の機会を提供する事業（営利を目的とするもの及び学校行事に係るものを除く。） (1) 補助対象者 こども・若者の健全な成長の支援に資する活動を行う団体 (2) 補助率 1/2 (3) 限度額 30万円 (4) 想定団体 7団体	
事業の内容	2. こども・若者まんなか活動支援事業 500千円 こども・若者が主体となり、多様な交流または体験の機会を自ら作る事業 (1) 補助対象者 こども・若者で構成される団体 (2) 補助率 3/4 (3) 限度額 10万円 (4) 想定団体 5団体	500千円
	※その他、公募選定委員報酬として20千円	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,300	地域未来交付金(1/2)	14
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,320	子ども・若者健全育成基金繰入金	21
	一般財源	-		
担当課 子育て応援 課		課長名 野田 諭史	内線番号	2150

令和8年度 主な事務事業調

No. 128

事業名	施設整備事業費（公民館）					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費
事業費	39,046 千円			予算書	71 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	公民館は、多世代が交流し、人がつながる地域づくりの拠点として、広く市民に学びと居場所を提供する役割を担っている。また、行政機能、防災機能などを備えた地域の拠点施設としての側面を持つことから、安全・安心な利用環境の維持を図るために、各施設の改修を実施する。					
事業の内容	<p>【主な工事概要】</p> <p>1 城南会館 ・空調設備改修工事 ・高圧ケーブル取替工事</p> <p>2 中公民館 舞台装置修繕工事</p> <p>3 南公民館 事務室空調改修工事</p>					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	38,400	社会教育債			24
	その他	-				
一般財源		646				
担当課 生涯学習推進 課			課長名	森 輝明		内線番号 1223

令和8年度 主な事務事業調

No. 129

事業名	公民館マスタープラン策定事業費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費
事業費	2,000 千円			予算書	71 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	地域づくり・人づくりの拠点として、魅力的かつ持続可能な公民館運営を実現するため、公民館の果たすべき意義や役割をはじめ、中長期的な視点に立った施設の適正管理や具体的な運営方針等を示す「公民館マスタープラン」を策定する。					
事業の内容	<p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設実態調査・分析（ソフト・ハード） ○既存事業の点検・評価 ○「公民館マスタープラン」の作成 					
財源内訳						
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	1,000	きょうと地域連携交付金（1/2）			19
	地方債	-				
	その他	-				
一般財源		1,000				
担当課	生涯学習推進課	課長名	森 輝明	内線番号	1223	

令和8年度 主な事務事業調

No. 130

事業名	中央図書館整備事業費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 図書館費
事業費	916,800 千円			予算書 事業区分	71 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	「舞鶴市図書館基本計画」に基づき、西舞鶴駅東口への建設を進めている中央図書館の整備工事を行う。					
	<ul style="list-style-type: none">○建設地：舞鶴市字伊佐津他 地内○業務：中央図書館整備工事○実施期間：令和8年度～10年度 (債務負担行為を設定、限度額3,300,000千円)					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none">○整備内容 敷地面積：約9,900m² 建物構造：鉄骨造 2階建て 延床面積：約3,600m² その他：駐車場					
	<ul style="list-style-type: none">○事業スケジュール（予定） 令和7年度：実施設計 令和8年度：建築工事、用地取得 令和9年度：建築・機械設備・電気設備・外構工事 令和10年：供用開始					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	458,400	都市構造再編集中支援事業費補助金(1/2)			14
	府支出金	-				
	地方債	458,400	社会教育債			24
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	図書館	課	課長名	山本 達也	内線番号	1238

令和8年度 主な事務事業調

No. 131

事業名	図書館再編推進事業費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費	11,501 千円			予算書	71 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>「舞鶴市図書館基本計画」に掲げる3つの基本方針、「課題解決型図書館への脱皮」、「子どもたちや社会的弱者など、あらゆる市民に対するサービスの展開」、「全市域へのサービス網の構築」に基づく図書館機能の再編や、魅力的な図書館づくりに向けた取組を計画的に進める。</p>					
事業の内容	<p>中央図書館の開館に向け、運営・サービス計画の策定を行うとともに、市全域へのサービス網の構築に重要な分館の役割等について基本方針を策定する。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none">○中央図書館の運営・サービスについての計画策定○分館サービスや東分館の機能、ゾーニングなど基本方針の策定○自動車図書館導入に向けた実証実験○司書のスキルアップに向けた視察・研修の実施					
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	5,700	きょうと地域連携交付金（1/2）			19
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	5,801				
担当課	図書館	課	課長名	山本 達也	内線番号	1238

令和8年度 主な事務事業調

No. 132

事業名	図書資料等充実経費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費	55,375 千円			予算書	71 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	「舞鶴市図書館基本計画」に基づく図書館再編の取組の一環として、中央図書館を核とした全域への図書館サービスの実現に向けて、その基本となる蔵書整備に取り組む。 あらゆる世代の課題解決を支援し、幅広い情報提供を可能にするため、日々発行される新刊、定番となっている本など計画的に蔵書を揃える。
事業の内容	<p>○新規図書の購入等 52,675千円 (購入予定冊数：約2万5千冊)</p> <p>○その他、新聞雑誌等の購入 2,700千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	55,375		
担当課		図書館	課 課長名	山本 達也 内線番号 1238

令和8年度 主な事務事業調

No. 133

事業名	図書館システム更新事業費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費	41,318 千円			予算書	71 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	「舞鶴市図書館基本計画」に基づく図書館再編の取組の一環として、新たな中央図書館の開館とすべての図書館のネットワークを構築し、利便性等の向上を図るため、図書館システムの更新を行う。					
	【新たなシステムで実現を目指す主なサービス内容と効果】					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none">○市内全図書館間のネットワーク化による効率的な図書館運営と利便性の向上○スマートフォン連携による貸出・予約の効率化による貸出者数の増加○自動貸出機の導入による利用者の手続き負担軽減、貸出処理の効率化					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	20,624	地域未来交付金(1/2)			14
	府支出金	-				
	地方債	20,000	社会教育債			24
	その他	-				
一般財源		694				
担当課		図書館	課	課長名	山本 達也	内線番号 1238

令和8年度 主な事務事業調

No. 134

事業名	体育施設整備事業費 施設整備事業費（体育館）				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費 体育館費
事業費	343,705 千円			予算書	72 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	老朽化したスポーツ施設の改修や高機能化を図るなど、利用者の安全・安心で快適なスポーツ実施環境を確保し、生涯スポーツの推進やスポーツイベントの開催・誘致等による地域活性化など、「スポーツを活かした元気なまちづくり」を推進する。			
事業の内容	<p>【主な整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○文化公園プール 　　プール場内床改修等○文化公園多目的施設 　　床張替工事○東舞鶴公園 　　舞鶴ミライスタジアム本部席、スタンド席改修工事 ほか <p>【大型備品】</p> <ul style="list-style-type: none">○舞鶴文化公園体育館 　　バスケットゴールの購入			
財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	1,800	社会資本整備総合交付金（1/2）	14
	府支出金	-		
	地方債	245,600	保健体育債	24
	その他	91,490	スポーツ施設整備基金繰入金、雑入（独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助）	21・23
	一般財源	4,815		
担当課	スポーツ振興課	課長名	堂田 久美	内線番号 1235

令和8年度 主な事務事業調

No. 135

事業名	スポーツ大会開催事業費					
費目	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費
事業費	3,783 千円			予算書	72 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	近年注目され、競技人口が拡大しているモルックの全国大会である「第13回モルック日本大会」（日本モルック協会主催）の誘致を実現するなど、ルールがシンプルで誰もが参加しやすい「ニュースポーツ」の振興を図る。また、市民や事業所等が一堂に会し、綱引きや大縄跳びなど誰もが知っている運動会の定番種目を楽しむ「舞鶴市民大運動会」を開催するなど、スポーツを通じて健康増進やチームワークの向上、参加者同士の交流を促進する。
	<ul style="list-style-type: none">○ 「第13回モルック日本大会」開催経費 1,347千円 【新規】 【日程】 10月中旬から11月上旬のうち2日間開催予定 【会場】 東舞鶴公園陸上競技場○ 「舞鶴市民大運動会」開催経費 547千円 【日程】 令和8年5月30日（土）※予定 【会場】 舞鶴文化公園体育館 【内容】 運動会の定番種目（綱引き、大縄跳び等） 体力測定等のサブアトラクションも開催 【対象】 一般市民、市内事業所○ 「第80回舞鶴市駅伝競走大会」開催経費 1,889千円

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	600	きょうと地域連携交付金（1/2）	19
	地方債	-		
	その他	440	雑入（スポーツ教室・大会等参加料）	23
	一般財源	3,343		
担当課 スポーツ振興 課			課長名 堂田 久美	内線番号 1235

令和8年度 主な事務事業調

No. 136

事業名	赤れんがハーフマラソン開催経費				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	9,968 千円			予算書 事業区分	72 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	市制70周年を契機に始まった「舞鶴赤れんがハーフマラソン」は、スポーツの普及振興や地域コミュニティの活性化、まちの魅力発信、交流人口の拡大等を目的に、多くの市民や関係団体等の参画、連携により開催している。海上自衛隊の桟橋や航空基地に加え、昨年度から取り組み好評であった「ジャパンマリンユナイテッド(株)」及び「カナデビア(株)」の敷地内を通る舞鶴らしいコースの特徴や魅力のさらなる発信に努め、大会の盛り上げにつなげる。	
	<p>○大会概要（予定）</p> <p>【日時】令和8年10月12日（月・祝）</p> <p>【会場】赤れんがパーク周辺（スタート・ゴール）</p> <p>【種目】ハーフマラソン、2km</p> <p>【定員】ハーフの部：2,800人 2kmの部：500人</p>	

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	7,974	雑入(独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金)	23
	一般財源	1,994		

担当課 スポーツ振興 課 課長名 堂田 久美 内線番号 1235

令和8年度 主な事務事業調

No. 137

事業名	部活動地域展開推進事業費				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	28,679 千円			予算書	72 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	人口減少や少子化によって生じる子どもたちを取り巻く環境の変化に対応し、子どもたちがやりたいスポーツや文化・芸術活動を主体的に選択できる環境を守っていくため、長らく学校の中で行われてきた部活動を地域の活動に変えていく「部活動の地域展開」を推進する。			
	令和8年度2学期からは、休日における部活動を本格的に地域クラブ活動へ展開し、併せて、平日における部活動の地域展開について検討を進める。			
1. 休日における地域クラブ活動「まいかつ」の開始				
<ul style="list-style-type: none"> ・運営事務委託 10,000千円 HP作成、認定団体及び参加者との調整、指導者研修の実施など ・経済的困窮世帯支援補助 7,750千円 活動費補助 上限 3,000円／月 道具等購入費補助 上限 10,000円／年 ・実施団体立ち上げ支援補助 6,000千円 上限 100,000円／1団体 など 				
2. 平日における部活動の地域展開の検討				
<ul style="list-style-type: none"> ・「舞鶴市部活動地域展開推進会議」の開催 ・地域展開に関する総合調整を担う「統括コーディネーター」の配置 				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,625	地方スポーツ振興費補助金(1/2)、文化芸術振興費補助金(1/2)	14
	府支出金	7,930	運動部活動地域展開等推進事業補助金(2/3、10/10)、文化部活動地域展開等推進事業補助金(2/3、10/10)	19
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	18,124		

担当課	教育未来 スポーツ振興 文化振興	課	課長名	後 梢 堂田 久美 横川 拓也	内線番号	2481 1235 1224
-----	------------------------	---	-----	-----------------------	------	----------------------

令和8年度 主な事務事業調

No. 138

事業名	スポーツ施設適正管理計画策定経費					
費目	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費
事業費	8,500 千円			予算書	72 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	スポーツ庁が定める「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に準拠し、多様なスポーツを身近に楽しめる安全安心な環境を持続的に提供するため、市内スポーツ施設の老朽化状況に加え、財政状況、人口動態の変化を踏まえ、将来的な施設の統廃合や有効活用、維持管理を含む総合的な計画を策定する。
事業の内容	<p>○対象施設</p> <ul style="list-style-type: none">・東体育館・文化公園体育館・文化公園プール・東舞鶴公園（陸上競技場、テニスコート、弓道場、舞鶴ミライスタジアム）・伊佐津川運動公園（多目的グラウンド、人工芝グラウンド、テニスコート）・前島みなと公園（テニスコート）・泉源寺多目的施設 <p>など全14施設</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	8,500		
担当課 スポーツ振興 課		課長名	堂田 久美	内線番号 1235

令和8年度 主な事務事業調

No. 139

事業名	(水道事業会計) 水道基本料金無料事業費					
費目	款	水道事業収益 水道事業費用	項	営業収益 営業費用	目	給水収益 業務費
事業費	(給水収益及び業務費の内数)			予算書	2・3 頁	
	147,600 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民や事業者を幅広く支援するため、水道基本料金の6ヶ月分を無料とする。 ※本事業は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施。 (水道事業会計は無料化事業分を一般会計からの補助金として歳入するもの。)					
	○対象者	全ての給水契約者（官公署、臨時用除く）約36,400件				
	○内容	水道基本料金 6ヶ月分無料				
		対象件数	基本料金	6ヶ月無料分		
	(1) 家事用	約33,900件	704円／月	4,224円		
	(2) 事業用※	約2,500件	1,556円～45,662円／月	9,336円～273,972円		
	※基本料金は口径により異なる					
	○実施期間	5月請求分（4月検針）から9月請求分（8月検針）まで (令和7年度では4月請求分（3月検針）を実施)				
	○事業費内訳					
		令和7年度 3月検針分	令和8年度 4～8月検針分	総事業費		
事業の内容	収益	減免額	28,200千円	145,200千円	173,400千円	
	費用	事務経費	100千円	2,400千円	2,500千円	
	合計	一般会計 補助額	28,300千円	147,600千円	175,900千円	
	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
財源内訳	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	147,600	他会計補助金			2
	一般財源	-				
	担当課	経営企画	課長名	岡野 秀和	内線番号	2264

令和8年度 主な事務事業調

No. 140

事業名	(水道事業会計) 広域型官民連携検討事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	浄水施設費 配水施設費
事業費	(浄水施設費及び配水施設費の内数)			予算書	5	頁
	20,000 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	京都北部圏域の水道事業者が、「人材不足」「施設の老朽化」「料金収入の減少」等の共通課題に対し、水道事業の持続可能性を高める対応策を共同で検討するもの。					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都北部圏域水道事業者 舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、京都府（工業用水道事業） ○ 検討内容 <ul style="list-style-type: none"> ・包括的な官民連携の可能性 業務毎の仕様書発注から、民間事業者のノウハウが期待できる包括的な業務発注への移行 ・広域的な連携事業の可能性 一市町毎の業務発注から、複数市町での共同発注への移行 ○ 組織 「(仮称) 経営基盤強化あり方検討会」を設置し、検討を進める予定 					
事業の内容	区分	金額 (千円)	歳入名称 (補助率等)			予算書
財源内訳	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	20,000				
担当課	経営企画	課	課長名	岡野 秀和	内線番号	2264

令和8年度 主な事務事業調

No. 141

事業名	(水道事業会計) 浄水施設整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	浄水施設費
事業費	(浄水施設費の内数)			予算書	5	頁
	106,150 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	上福井浄水場及び由良川取水場において、施設整備を行い、安心で安全な水道水の安定供給に努める。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○由良川塩水遡上対策 1,100千円 事業内容：国土交通省、水利権者等との協議資料作成 ○二箇取水場取水ポンプ整備工事 55,000千円 【令和8年度から令和10年度の債務負担行為550,000千円】 施工箇所：福知山市二箇地内 事業内容：仮設ポンプ設置工事 ※令和9年度：1号ポンプのオーバーホール 令和10年度：2号ポンプのオーバーホール ○上福井浄水場天日乾燥床整備工事 50,050千円 施工箇所：上福井地内 事業内容：天日乾燥床土地造成工事 ※令和9年度：天日乾燥床新設工事 	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		106,150		
担当課 水道整備 課		課長名 山崎 寛之	内線番号	2270

令和8年度 主な事務事業調

No. 142

事業名	(水道事業会計) 配水管整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	配水施設費
事業費	(配水施設費の内数)			予算書	5	頁
	565,330 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	水道ビジョンに基づき、老朽化した水道管の更新を行う。更新に当たっては、将来の水需要予測を踏まえた適正口径へ見直し、および耐震性のある水道管への取り替えを行い、安心で安全な水道水の安定供給に努める。					
	<p>○配水管布設替工事 565,330千円 工事延長 : 約2,840m 施工箇所 : 行永、倉谷、浜 地内他 口径 : φ50～φ300</p>					
事業の内容	<p>【参考】 令和7年度事業費（R8前倒し分） 222,200千円 令和8年度事業費 565,330千円 合計 787,530千円</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	21,872	水道管路緊急改善事業補助金(1/4)			4
	府支出金	-				
	地方債	385,000	水道事業債			4
	その他	37,330	負担金			4
	一般財源	121,128				
担当課 水道整備 課			課長名 山崎 寛之	内線番号 2270		

令和8年度 主な事務事業調

No. 143

事業名	(下水道事業会計) 管渠建設事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設費
事業費	(管渠建設費の内数)			予算書	28 頁	
	50,000 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	農業集落排水池内処理区を公共下水道へ統合を行い、池内浄化センターを廃止することで、人口減少に伴う汚水処理の効率化を進め、持続可能な下水道事業を推進する。					
	<p>○統廃合に係る管布設工事 【水管橋下部工】 施工箇所：布敷地内 事業費：50,000千円</p> <p>【令和8年度から令和9年度の債務負担行為 150,000千円】</p>					
事業の内容						
財源内訳						
	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)			予算書
	国支出金	25,000	社会資本整備総合交付金(1/2)			27
	府支出金	-				
	地方債	25,000	下水道事業債			27
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	下水道整備	課	課長名	上ノ山 誉逸	内線番号	2220

令和8年度 主な事務事業調

No. 144

事業名	(下水道事業会計) 管渠整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠整備費
事業費	(管渠整備費の内数)			予算書	28 頁	
	136,000 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業 目的	下水道管渠等の老朽化に伴う事故発生や、機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント計画等に基づく、点検・調査・修繕・改築を行うとともに、耐震化等の防災・減災対策を進め、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。				
事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道管渠施設の更新（工事） 污水ポンプ2機場、マンホール蓋等の更新 施工箇所：森、浜、溝尻地内他 事業費：86,000千円 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○公共下水道管渠施設の点検・調査・耐震診断（委託） 調査延長：L=9,000m 調査箇所：浜、松陰地内他 事業費：50,000千円 				
財 源 内 訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	45,000	社会資本整備総合交付金(1/2)		
	府支出金	-			
	地方債	91,000	下水道事業債		
	その他	-			
一般財源					
担当課		下水道整備	課	課長名	上ノ山 誉逸
					内線番号 2220

令和8年度 主な事務事業調

No. 145

事業名	(下水道事業会計) 処理場整備事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	処理場整備費
事業費	(処理場整備費の内数)			予算書	28 頁	
	385,000 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業 目的	処理場施設の老朽化などによる機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント計画等に基づき、計画的な点検・調査・修繕・改築を行うとともに、耐震化等の防災・減災対策を進め、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。					
	○公共下水道 清浄化センター施設改築 (工事) 280,000千円 西清浄化センター：消毒設備工事 事業費：150,000千円 【令和8年度から令和9年度の債務負担行為 400,000千円】					
事業 内容	東清浄化センター：汚泥処理設備改築（汚泥移送管） 事業費：130,000千円					
	(委託) 105,000千円 東・西清浄化センター ①ストックマネジメント計画 事業費：45,000千円 ②耐震設計（管理棟、汚泥処理棟） 事業費：60,000千円					
財 源 内 訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	130,000	社会資本整備総合交付金（1/2、5.5/10）			27
	府支出金	-				
	地方債	255,000	下水道事業債			27
	その他	-				
一般財源						
担当課	下水道整備	課	課長名	上ノ山 誉逸	内線番号	2220

令和8年度 主な事務事業調

No. 146

事業名	(下水道事業会計) 雨水処理事業費					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	雨水処理費
事業費	(雨水処理費の内数)			予算書	28 頁	
	20,300 千円			事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	今後の東西市街地の浸水対策事業を実施するため、具体的な計画（雨水管理総合計画・全体計画）を立て、安全で安心なまちづくりを推進する。				
	雨水管理総合計画、公共下水道事業雨水全体計画及び法的手続きを必要とする資料作成を行う。 ○計画策定のための資料作成業務 20,300千円				
事業の内容					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	20,300	他会計補助金		27
	一般財源	-			
担当課	浸水対策	課	課長名	江上 和成	内線番号 2250

令和8年度 主な事務事業調

No. 147

事業名	(病院事業会計) 病院事業 (収益的収支・資本的収支)		
費目	款	項	目
事業費	1,396,410 千円	予算書 事業区分	48~52 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	病院事業については、地域に必須の機能・役割の遂行と、地域包括ケアにおいて求められる医療ニーズに対して、患者やその家族に寄り添いながら地域医療に貢献していく。 その中で、市民病院については、引き続き地域の急性期医療提供体制の円滑な運用に不可欠な受け皿としての機能強化を図り、自宅や地域へ戻るための「架け橋」としての役割を進める。 また、加佐診療所については、引き続き地域のかかりつけ医としての診療を続けながら、訪問看護を現在の「みなし指定」から「訪問看護ステーション」として事業化することで充実を図る。今後、病院から在宅への移行が進み需要が高まる中、地域住民の安心を確保し、かつ持続可能な体制を提供することで、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるための支援の要とする。	
	[事業費内訳] ・市民病院 1,286,219千円 ・診療所 110,191千円	
	[市民病院概要] ・療養病床 100床 ・入院患者 94.5人/日平均（見込み） ・入院収益 682,951千円 ・職員体制 101人	
事業の内容	[診療所概要] ・診療科 内科・整形外科・その他（健診、予防接種等） ・外来患者 12人/日平均（見込み） ・医業収益 28,058千円（健診、予防接種等含む） ・訪問看護収益 30,704千円【新規】 ・職員体制 11人（うち訪問看護5人）	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	433		49・51
	府支出金	811		49・51
	地方債	85,300	病院事業債	51
	その他	444,020	市補助金（病院分400,388千円、診療所分43,632千円）	49・51
	一般財源	828,576		
担当課 市民病院総務 課		課長名 桑垣 美香	内線番号 60-9020	

令和8年度 主な事務事業調

No. 148

事業名	(国民健康保険事業会計) 国民健康保険事業		
費目	款	項	目
事業費	6,551,020 千円	予算書 事業区分	73~91 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	被保険者数は引き続き減少が見込まれる中、府全体の1人当たり医療費は令和7年度と同程度と見込まれている。しかし、団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行したことで、後期高齢者支援金等の一人当たり負担は増加。さらに、令和8年度からは「子ども・子育て支援金」の徴収が新たに開始されることから、1人当たり保険料の引き上げを行うが、急激な負担増とならないよう保有している基金を計画的に活用することで保険料の引き上げ幅を抑制し、持続可能な運営に務める。																									
	<p>【主な歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保険料 1,204,175千円 <1人当たり保険料> <ul style="list-style-type: none"> ・医療分+支援分 95,430円 (前年度比 6.8%の増) ・介護分 29,370円 (前年度比 3.2%の増) ・子ども分 3,040円 (令和8年度から新設) ○府支出金 4,596,930千円 ○一般会計繰入金 627,981千円 低所得者の割合等に応じた財政支援の保険者支援分など ○国民健康保険事業基金繰入金 112,703千円 保険料の負担軽減等 <p>【主な歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保険給付費 4,560,315千円 ○国民健康保険事業費納付金 1,756,170千円 府内の保険給付費に充てるため、府が所得水準及び医療費水準に応じて各市町村ごとに算定 ○保健事業費 94,095千円 																									
事業の内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(千円)</th> <th>歳入名称(補助率等)</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>1</td> <td>災害臨時特例補助金</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>4,596,930</td> <td>保険給付費等交付金</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>744,412</td> <td>一般会計繰入金 他</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,209,677</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	国支出金	1	災害臨時特例補助金	-	府支出金	4,596,930	保険給付費等交付金	-	地方債	-			その他	744,412	一般会計繰入金 他	-	一般財源	1,209,677		
区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																							
国支出金	1	災害臨時特例補助金	-																							
府支出金	4,596,930	保険給付費等交付金	-																							
地方債	-																									
その他	744,412	一般会計繰入金 他	-																							
一般財源	1,209,677																									

担当課	保険医療	課	課長名	濱田 真義	内線番号	2160
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和8年度 主な事務事業調

No. 149

事業名	(介護保険事業会計) 介護保険事業費				
費目	款		項		目
事業費	8,999,850 千円		予算書	102~127 頁	

事業の目的	介護を要する状態となっても、できる限り、自宅で自立した日常生活を営めるように、真に必要な介護サービスを総合的・一体的に提供するための介護保険制度を運営する。																										
	<保険事業勘定> 介護サービス等にかかる費用について「保険給付事業」を行うとともに、「地域支援事業」として、要支援者等の通所・訪問サービス等に係る「介護予防・生活支援サービス事業」を実施するほか、「一般介護予防事業」や「包括的支援事業」、「任意事業」を実施。 居宅・施設サービスの利用等にかかる費用については、所得に応じ9割~7割分を保険給付し、ケアプラン作成にかかる費用については、全額保険給付となる。 その他、国保連への審査支払手数料や高額介護サービス等にかかる費用等を計上。																										
事業の内容	<サービス事業勘定> 「介護サービス事業」として、市内に7ヶ所ある「地域包括支援センター」のうち、市が直営により運営する指定介護予防支援事業所1ヶ所において、介護予防支援を実施する。																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額(千円)</th> <th>歳入名称(補助率等)</th> <th>予算書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金</td> <td>2,228,087</td> <td>介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>1,260,484</td> <td>介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,992,456</td> <td>支払基金交付金、繰入金、諸収入 他</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,518,823</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	国支出金	2,228,087	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	-	府支出金	1,260,484	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	-	地方債	-			その他	3,992,456	支払基金交付金、繰入金、諸収入 他	-	一般財源	1,518,823	
区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																								
国支出金	2,228,087	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	-																								
府支出金	1,260,484	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	-																								
地方債	-																										
その他	3,992,456	支払基金交付金、繰入金、諸収入 他	-																								
一般財源	1,518,823																										
担当課	高齢者支援 課	課長名	半林 美恵	内線番号	2140																						

令和8年度 主な事務事業調

No. 150

事業名	(介護保険事業会計) 地域支援事業費				
費目	款	地域支援事業費	項		目
事業費	302,539 千円		予算書	112~114 頁	
			事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	地域支援事業では、被保険者が要介護・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供することを目的として実施するもの。
	<p>1. 介護予防・生活支援サービス事業 要支援者等を対象に、訪問型・通所型サービスのほか軽易な家事援助や配食サービス等の生活支援等を実施するとともに、在宅における専門職によるリハビリや栄養指導などの集中的な訪問型支援を実施する。</p> <p>2. 一般介護予防事業 介護予防に関する普及・啓発や事業効果の分析などを行い、介護予防活動を通じて地域づくりを推進する。</p> <p>3. 包括的支援事業 リハビリ職など多職種協働による地域ケア会議の実施、認知症施策や生活支援体制の整備、在宅医療・介護の連携推進などにより、更なる「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組む。</p> <p>4. 任意事業 住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者の見守り体制の整備や介護家族への支援のほか、介護給付費の適正化に取り組む。 (配食サービス、緊急通報システムなど)</p> <p>5. 地域包括支援センター運営費</p>
事業の内容	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	92,032	地域支援事業交付金(20/100、38.5/100)等	105
	府支出金	37,831	地域支援事業交付金(12.5/100、19.25/100)等	106
	地方債	-		
	その他	133,265	地域支援事業市負担金(12.5/100、19.25/100)等	-
	一般財源	39,411		
担当課 高齢者支援 課		課長名	半林 美恵	内線番号 2140

令和8年度 主な事務事業調

No. 151

事業名	(後期高齢者医療事業会計) 後期高齢者医療事業		
費目	款	項	目
事業費	1, 773, 900 千円	予算書 事業区分	128~140 頁 新規・拡大・継続

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費で、医療費の給付や保険料賦課決定などの基幹事務は京都府後期高齢者医療広域連合が行い、市町村は窓口業務、保険料の徴収、資格確認書の交付及び保険料賦課決定通知書の郵送を行う。		
	○後期高齢者医療広域連合納付金	1, 723, 982 千円	
	・保険料等分	1, 323, 584 千円	
	・保険基盤安定分	366, 791 千円	
	・事務費分	33, 607 千円	
事業の内容	○一般管理経費等	38, 515 千円	
	○徴収費	8, 843 千円	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	450,315	繰入金ほか	-
	一般財源	1,323,585		
担当課 保険医療 課			課長名 濱田 真義	内線番号 2160